

政務活動報告書（個表）

管理番号		7-1		作成 7月31日	
会派(議員)名		立憲新風会 木岡 崇			
実施年月日		2022年7月8日			
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費			
	内 容	市民への市政報告のための市政レポート40号のポスティング代金として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること			
	金 額	228,195円 (消費税込)			
支出の内容	内 訳	領収書別添 市政レポート40号のポスティング代金として $46,100 \text{ 枚} \times @4.5 \text{ 円} = 207,450 \text{ 円 (税抜)}$ $207,450 \text{ 円} \times 1.1 = 228,195 \text{ 円 (税込)}$ ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること			
	備 考				

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号
※ 7-1

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 証

木岡 たかし

様

No. _____

★ 4228,195-

但 市政レポ+40号配布費用とし(丁版38,600枚・S版7500枚)

2022年 7月 8 日 上記正に領収いたし(単価45円(税別))

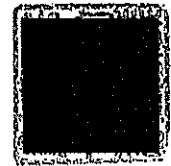
内訳	税率	金額(税抜・税込)
		207,450-
	10%	消費税額等 20,745-
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等 .



株式会社クローバー

〒332-0015 埼玉県川口市川口2-15-20

代表取締役 矢崎 良介



川口市議会議員 46歳

7-1

Vol.40 2022.3

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート

発行責任者 木岡たかし
[連絡先]

TEL
Ma

立憲
民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心できる医療と介護を実現します！



川口市の将来のための

アンケートへのご協力ありがとうございました

2021 年末より実施しましたアンケートに対して、市民の皆さんから多くのご回答をいただきました。今回の市政レポートでは、アンケート結果やお寄せいただいたご意見を紹介したいと思います。

お寄せいただいたすべてのご意見について真摯に受け止めて、市政に一つでも多く反映できるよう努めていきます。引き続き、皆さんの貴重なご意見をお聞かせいただければ幸いです。

● 東川口駅前行政センターについてのアンケート結果 ●



東川口駅前行政センター 建設地

現在、東川口駅南口にて建設が始まっている（仮称）東川口駅前行政センターは、18 階建ての高層建築物となります。しかし行政センターとして使用するのは 1 階と 2 階のみで、3 階から 18 階までは分譲マンションとして、すでに販売が始まっています。

わたし木岡は、今からでも川口市として 3 階、4 階を買い戻すなどして、公民館や図書館、保育所、商業施設などを設けるべきではないかと提案してきました。

そこで、市民が使える施設とする計画変更を行うべきか否かについてお尋ねしました。

アンケート結果

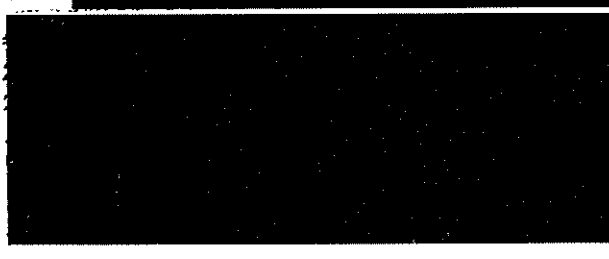
市民が使える施設を現計画より多く設けることを求める意見が多かった

- ア) 今の計画のままで良い 2.9%
- イ) 3階、4階を取得して市民が使える施設とすべき 86.7%
- ウ) その他 7.3%

[2Pにつづく]

木岡たかし [profile] 木岡たかし 検索

木岡崇。



【市側のわずかな変化】

7-1

東川口駅前行政センター内に公民館や図書館、保育所、商業施設などを求める地域の声を受けて、これまで市側に計画変更を求めてきましたが、残念ながら市民が利用できる施設の床面積拡大は行われぬまま粛々と工事が進められ、分譲マンションの販売も始まっています。

ただし、市民の声を無視できなかったためか、市側は以下のわずかな変更を検討しております。

- ①設計当初は職員用の会議室であったスペース（約 160 ㎡）について、市民にも貸し出せる会議室とする方針転換がなされる見込み
- ②設計当初は計画になかった図書館のブックポスト（返却のみ）を設置する見込み

これらの方針転換は、わずかな改善ではありますが、一歩進んだと思います。

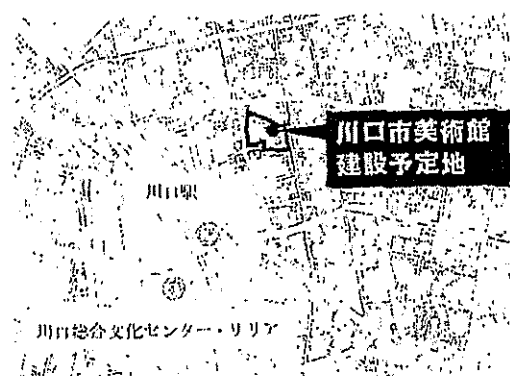
【この問題の今後について】

〈戸塚支所の跡地をどう活用するか〉

今後は、駅前行政センターの設置に伴い閉所となる戸塚支所の跡地の利用について、地域住民にとって有用な施設となる様に提案していきますので、皆さんのご意見をお聞かせください。

さらに戸塚体育館も含めて川口市北東部の公共施設の在り方について、地域の皆さんのご意見に基づいた計画を立てることを市側に提案し実現できるよう取り組んでいきます。

● 川口市美術館建設計画についてのアンケート結果 ●



2021 年 6 月に示された「川口市美術館建設基本計画」では、「旧栄町公民館跡地を含む川口市栄町 3 丁目 11 番地区（川口駅前）の再開発事業により美術館建設を目指します」とし、調査が始まっています。

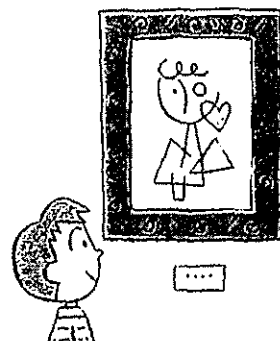
わたし木岡は、再開発事業となれば、多額の税金が必要となる上、また川口駅周辺ばかりに税金が投入される点も問題だと指摘し、これからの川口市に、「本当に市立美術館建設が必要なのか」「財政的に成り立つのか」など計画中止も含めて慎重な議論をすべきと提案してきました。

その上で、市立美術館構想の在り方について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

美術館建設の計画中止も含めて見直す、もしくは計画中止を求める意見が多かった

- ア) 基本計画通りに市立美術館を建設する 7.6 %
- イ) 美術館建設について計画中止も含め見直す . . . 74.5 %
- ウ) その他 12.2 %



【この問題の今後について】

現在、市立美術館建設は、旧栄町公民館跡地だけではなく、川口駅西口にある西公園の一部に建設する案も出され、市長が前向きに検討に入るとみられます。

しかし、建設場所がどこであれ、建設費用に多額の税金が必要になること、建設後も美術品の収集・所蔵・維持管理に多額の費用がかかることには変わりはありません。

今後、子どもたちへの行政投資が欠かせないこと、いっそう高齢化が進むことなどが明白な今、川口市の将来を考え、多額の税金を要する市立美術館の建設は慎重に扱うべき課題であると思います。

引き続き、計画中止を求める方向で取り組みます。

！ 川口市美術館建設計画についての【木岡の提案】

わたし木岡は、多額の建設費に税金をつぎ込むのではなく、市外の美術館を市民が利用するときの市民割引制度を提案していこうと考えています。市民が川口市近郊の美術館など（例えば浦和の埼玉県立近代美術館や上野の東京都美術館、国立西洋美術館、国立博物館など）を無償もしくは割安で利用できる方が、市民にとって「美術」「芸術」「文化」を身近に感じることにつながるのではないのでしょうか。その上、この方法なら美術館建設より財政的負担も少なくできます。

● 川口駅への中距離電車停車についてのアンケート結果 ●

市長と自民党会派がこだわっている川口駅への中距離電車停車については、JR東日本側から中距離電車の川口駅への停車について繰り返し難色を示されてきた上に、中距離電車を停車させる場合には **400億円以上の多額の市側負担を求められていて、事実上、行き詰っています。**（JR東日本が鉄道事業者として、自らの予算で川口駅に停車する路線を増やしたり、駅舎を改修していただくならば是非とも実現してほしいですが・・・）

もし多額の市民の税金を投入してまで川口駅への中距離電車停車にこだわることになれば、また川口駅周辺に（かり税金が投じられることになり、市内の均衡ある発展に反します。

ですから、わたし木岡は川口駅への中距離電車の停車にこだわらず、**埼玉高速鉄道の定期券や普通運賃の値下げなどを実施して利用拡大を図ることが、将来の川口市全体を考えた交通網の在り方だと提案してきました。**その上で、川口駅への中距離電車停車について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

川口駅への中距離電車停車にこだわらず、
埼玉高速鉄道（SR）の定期券や
普通運賃の値下げを求める意見が多かった

- ア) 川口駅への中距離電車停車のためには
駅舎改修費用など多額の税金投入も必要・・・4.2%
- イ) 川口駅への中距離電車停車にこだわらず、川口市全体の交通体系を
考慮したまちづくりについて考える・・・83.8%
- ウ) その他・・・8.4%

【この問題の今後について】

現在、川口駅への中距離電車停車については、暗礁に乗り上げたままと言えます。引き続き、川口市が多額の税金を負担する前提の計画については撤回を迫っていきます。もしくは市側負担の大幅な軽減を実現するように取り組みます。

同時に、川口駅周辺だけではなく、市内の均衡ある発展を実現すべく埼玉高速鉄道を最大限活用できるように以下の項目を中心に取り組んでいきます。

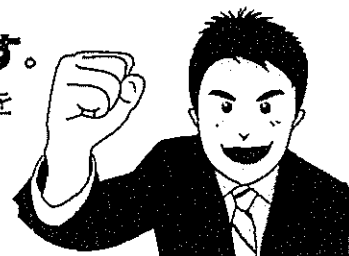
！ 埼玉高速鉄道にかかわって 【木岡が取り組む大きなテーマ3つ】

- ①岩槻までの延伸は必要か慎重に検討し、市民の声を聞き市政に届ける
- ②通勤定期券の値下げ
- ③普通運賃の値下げ



アンケートで寄せられた多くのご意見のうちの一部を紹介いたします。

※紙面の都合上ごく一部になってしまいましたが、記入していただいた全てのご意見を
読ませていただきました。



◆「東川口駅前行政センターについて」

- ・多目的ホール、サテライトオフィス、野菜の直売所、災害用備蓄品倉庫を
- ・地域ごとにバランスよく図書館を 駅前に図書館は必要（戸塚図書館が不便という意見もあり） ※多数意見
- ・出来るだけ多くの市民が利用できる施設にしてほしい。
- ・商業施設（コンビニ、スーパーなど）があれば良いと思う。 ※多数意見
- ・駅周辺には、待ち合わせに利用できる場所が少ないので「カフェ」などにも入ってほしい。
- ・駅前をもっと便利でにぎやかにしてほしい。商業施設も少なくあまりにも寂しい。
- ・そもそもマンションにはなってほしくなかった。あきらめていましたが、気持ちを奮ける機会があつてうれしかった。

◆「川口市立美術館計画について」

- ・もっと先にすべきことがあるのでは？
- ・場所を考え直してほしい。
- ・川口市にどうしても美術館が必要なのか疑問、そんな余裕があるとは思えない。
- ・多額の建設費と美術品購入費が使用されるなら中止すべき。
- ・その予算で、東川口周辺にも、もう少しお金を使ってほしい。
- ・誰が望んでいるのか？ほとんどの市民が知らない。コソコソ準備してきた感じ。
- ・市内にシンボルとなる美術館が建設されれば、一市民として嬉しく思う。
- ・安行北谷は行政のはずれで、たたら荘や図書館等の利用が難しい。図書館が必要。美術館より図書館を
- ・大反対です。川口駅周辺ばかり再開発しているのも不満。美術館は、都内に行けばすむ話。
- ・税金は、市民生活にこそ利用されるべきであって、無くて困らない施設等に税金を使うのは無駄です。
- ・美術館は不要。収支の合う事業とは思えない。税金で赤字補てんしながら運営するようになるのは反対です。
- ・必要ない、上野をはじめ都内には美術館が沢山ある。川口市民は、アクセスの良い東京の美術館に行けば良い。 ※多数意見
- ・美術館に多額の税金を投入するのは反対ですが、美術館があればいいなと思います。

◆「川口駅への中距離電車停車について」

- ・川口駅に停車した場合、次停車駅の赤羽はあまりにも近すぎる
- ・川口駅周辺ばかりに税金を使うのではなく、全体的な利便性を見直すべき。
- ・埼玉高速鉄道は高すぎる。 ※多数意見
- ・埼玉高速鉄道の定期券のみならず運賃値下げで利用拡大を図ってほしい。人流も分散するので中距離電車の停車も不要。便利になって、川口市の人口も増える。

◆「その他」

- ・差間から北原台に抜ける道路の開通を
- ・差間から東川口1丁目に抜ける地下道の安全確保と高架化を
- ・各種給付金・補助金の所得制限撤廃を
- ・JR東川口駅への暴風壁の設置を
- ・ブラック校則やいじめ問題への取り組みをしっかりとしてほしい
- ・ゴミ収集方法の個別化・有料化について検討してほしい
- ・東川口駅と東浦和駅の間に駅を作してほしい。
- ・埼玉高速鉄道の増便とJR東川口駅のホームドアの設置を
- ・既に存在しないキューボラをいまだにPRするのではなく、独自性のある産業、教育、文化を誇れる市にすべき。
- ・学校給食費無料化は必要
- ・戸塚保育所の設備が古すぎる。スペースも無駄が多い。
- ・保育士の処遇改善をしてほしいです。川口は、地域手当も少なく他市に比べて保育士に優しくない。
- ・子育てにお金がかからない街をお願いします。
- ・東日本大震災時に出来たともわれる、歩道の陥没などがいまだにそのまま。とても危険なので何とかしていただきたい。
- ・川口駅周辺にばかり力を入れ過ぎ。 ※多数意見

川口市議会議員 46歳

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート

Vol.40 2022.3

発行責任者 木岡たかし

〔連絡先〕

TEL

Mail

立憲
民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心できる医療と介護を実現します！



川口市の将来のための

アンケートへのご協力ありがとうございました

2021 年末より実施しましたアンケートに対して、市民の皆さんから多くのご回答をいただきました。今回の市政レポートでは、アンケート結果やお寄せいただいたご意見を紹介したいと思います。

お寄せいただいたすべてのご意見について真摯に受け止めて、市政に一つでも多く反映できるよう努めていきます。引き続き、皆さんの貴重なご意見をお聞かせいただければ幸いです。

● 川口市美術館建設計画についてのアンケート結果 ●



2021 年 6 月に示された「川口市美術館建設基本計画」では、「旧栄町公民館跡地を含む川口市栄町 3 丁目 11 番地区（川口駅前）の再開発事業により美術館建設を目指します」とし、調査が始まっています。

わたし木岡は、再開発事業となれば、多額の税金が必要となる上、また川口駅周辺ばかりに税金が投入される点も問題だと指摘し、これからの川口市に、「本当に市立美術館建設が必要なのか」「財政的に成り立つのか」など計画中止も含めて慎重な議論をすべきと提案してきました。

その上で、市立美術館構想の在り方について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

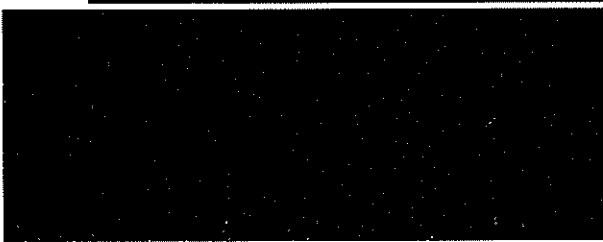
美術館建設の計画中止も含めて見直す、もしくは計画中止を求める意見が多かった

- ア) 基本計画通りに市立美術館を建設する
..... 7.6%
- イ) 美術館建設について計画中止も含め見直す
..... 74.5%
- ウ) その他
..... 12.2%

[2Pにつづく]

木岡たかし [profile] 木岡たかし 検索

木岡案。



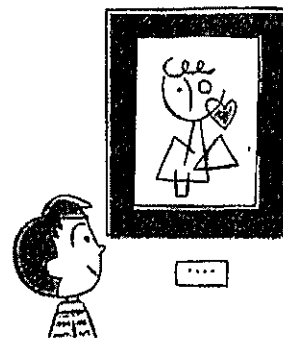
【この問題の今後について】

現在、市立美術館建設は、旧栄町公民館跡地だけではなく、川口駅西口にある西公園の一部に建設する案も出され、市長が前向きに検討に入るとみられます。

しかし、建設場所がどこであれ、建設費用に多額の税金が必要になること、建設後も美術品の収集・所蔵・維持管理などに多額の費用がかかることに変わりはありません。

今後、子どもたちへの行政投資が欠かせないこと、いっそう高齢化が進むことなどが明白な今、川口市の将来を考えれば、多額の税金を要する市立美術館の建設は慎重に扱うべき課題であると思います。

引き続き、計画中止を求める方向で取り組みます。



！川口市美術館建設計画についての【木岡の提案】

わたし木岡は、多額の建設費に税金をつぎ込むのではなく、市外の美術館を市民が利用するときの市民割引制度を提案していこうと考えています。市民が川口市近郊の美術館など（例えば浦和の埼玉県立近代美術館や上野の東京都美術館、国立西洋美術館、国立博物館など）を無償もしくは割安で利用できる方が、市民にとって「美術」「芸術」「文化」を身近に感じることにつながるのではないのでしょうか。その上、この方法なら美術館建設より財政的負担も少なくできます。

●川口駅への中距離電車停車についてのアンケート結果●

市長と自民党会派がこだわっている川口駅への中距離電車停車については、JR東日本側から中距離電車の川口駅への停車について繰り返し難色を示されてきた上に、中距離電車を停車させる場合には **400 億円以上の多額の市側負担を求められていて、事実上、行き詰っています。**（JR東日本が鉄道事業者として、自らの予算で川口駅に停車する路線を増やしたり、駅舎を改修していただくならば是非とも実現してほしいですが・・・）

もし多額の市民の税金を投入してまで川口駅への中距離電車停車にこだわることになれば、また川口駅周辺にばかり税金が投じられることになり、市内の均衡ある発展に反します。

ですから、わたし木岡は川口駅への中距離電車の停車にこだわらず、**埼玉高速鉄道の定期券や普通運賃の値下げなどを実施して利用拡大を図ることが、**将来の川口市全体を考えた交通網の在り方だと提案してきました。その上で、川口駅への中距離電車停車について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

川口駅への中距離電車停車にこだわらず、埼玉高速鉄道（SR）の定期券や普通運賃の値下げを求める意見が多かった

ア）川口駅への中距離電車停車のためには

駅舎改修費用など多額の税金投入も必要・・・4.2%

イ）川口駅への中距離電車停車にこだわらず、川口市全体の交通体系を

考慮したまちづくりについて考える・・・83.8%

ウ）その他・・・8.4%



【この問題の今後について】

現在、川口駅への中距離電車停車については、暗礁に乗り上げたままと言えます。引き続き、川口市が多額の税金を負担する前提の計画については撤回を迫っていきます。もしくは市側負担の大幅な軽減を実現するように取り組みます。同時に、川口駅周辺だけではなく、市内の均衡ある発展を実現すべく埼玉高速鉄道を最大限活用できるように以下の項目を中心に取り組んでいきます。

！ 埼玉高速鉄道にかかわって 【木岡が取り組む大きなテーマ3つ】

- ①岩槻までの延伸は必要か慎重に検討し、市民の声を聞き市政に届ける
- ②通勤定期券の値下げ
- ③普通運賃の値下げ

● 川口オートレース場の今後について ●

川口オートは、川口市の発展において必要不可欠な役割を果たしてきましたが、時代の変化とともに、現在は赤字スレスレの非常に苦しい経営状況にあります。また施設の老朽化も深刻化しております。

そこで、川口市にとって今後のオートレース場はどうあるべきなのか、10年後、20年後、もっと先の未来も見通しつつ、オートレース場の将来像について、議論が必要だと考えて皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

オートレース場の事業転換も含めた議論をスタートすべきとのご意見が多勢ではありましたが、川口市のシンボルでもあるオートレース場は存続すべきとのご意見も一定数あった

- ア) 今のままオートレース場として存続させる 18.7%
- イ) オートレース場の事業転換をも含めた今後の在り方の議論をスタートさせる 59.3%
- ウ) その他 9.3%

【全国のオートレース場の現状について】

この間、船橋市が「売上減少状況が続く中で、施設改修費用を捻出するのは困難」という理由から、2016年3月31日をもって船橋オートを廃止しました。そのため全国に6会場あったオートレース場は現在、川口を含めて5会場となっています。

残された5会場についてもそれぞれ財政的に厳しい運営が続いているのが現状です。



【この問題の今後について】

川口オートレース場は川口市にとって欠かせない存在だとなご指摘もいただきます。

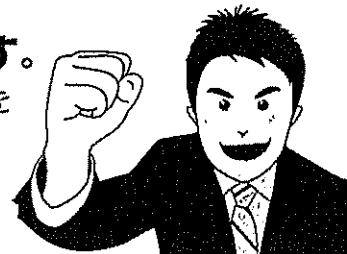
現在、川口オートレース場は、公営競技事務所に先頭に経営安定化を目指して様々な努力が続けられています。ですから当面は、この努力を後押ししていきたいと思います。

ただ、このままではオートレース場の運営は行き詰まります。実際のところ赤字の公営ギャンブルを税金で支え続ける余裕は、今の川口市には無いと思います。ですから、冷静に現状分析をした上で、オートレース場の将来像については、今から聖域のない議論をしていくべきだと考えます。

そして、赤字回避にとどまらず、川口市に人を呼び込めるようなオートレース場の活用策の検討も必要だと思いますので、そうした視点でのアイディアなどいただけると幸いです。

アンケートで寄せられた多くのご意見のうちの一部を紹介いたします。

※紙面の都合上ごく一部になってしまいましたが、記入していただいた全てのご意見を読ませていただきました。



◆「川口市立美術館計画について」

- ・もっと先にすべきことがあるのでは？
- ・場所を考え直してほしい。
- ・川口市にどうしても美術館が必要なのか疑問、そんな余裕があるとは思えない。
- ・多額の建設費と美術品購入費が使用されるなら中止すべき。
- ・誰が望んでいるのか？ほとんどの市民が知らない。コソコソ準備してきた感じ。
- ・市内にシンボルとなる美術館が建設されれば、一市民として嬉しく思う。
- ・安行北谷は行政のはずれで、たたら荘や図書館等の利用が難しい。図書館が必要。美術館より図書館を
- ・大反対です。川口駅周辺ばかり再開発しているのも不満。美術館は、都内に行けばすむ話。※多数意見
- ・税金は、市民生活にこそ利用されるべきであって、無くても困らない施設等に税金を使うのは無駄です。
- ・美術館は不要。収支の合う事業とは思えない。税金で赤字補てんしながら運営するようになるのは反対です。
- ・必要ない、上野をはじめ都内には美術館が沢山ある。川口市民は、アクセスの良い東京の美術館に行けば良い。
- ・美術館に多額の税金を投入するのは反対ですが、「美術館があればいいな」とは思います。

◆「川口駅への中距離電車停車について」

- ・川口駅に停車した場合、次停車駅の赤羽はあまりにも近すぎる
- ・川口駅周辺ばかりに税金を使うのではなく、全体的な利便性を見直すべき。
- ・埼玉高速鉄道は高すぎる。 ※多数意見
- ・埼玉高速鉄道の定期券のみならず運賃値下げで利用拡大を図ってほしい。
- ・人流も分散するので中距離電車の停車も不要。川口市の人口も増える。
- ・川口駅への中距離電車停車ではなく、蕨～南浦和の間に駅を新設してほしい。

◆「川口オートレース場の今後について」

- ・オートは文化である。事業転換は、この街から文化だとか潤いを消そうという愚行である。
- ・川口オートは、公営ギャンブルではありますが、二輪文化の担い手としての側面も持ってる。
- ・事業転換というマンション化などには反対。
- ・市内に一つぐらい娯楽施設があっても良い。
- ・スポーツをとおした、青少年健全育成となる場がほしい。
- ・利益が無いならば、他の有効活用を考えるべき。

◆「その他」

- ・私たちの地域では市役所に行くのも車が無ければ大変です。
- ・川口駅周辺ばかりの発展で年寄り置いてきぼりの様で寂しい限りです。
- ・柳崎第6公園は、避難所となっておりますが公園トイレがありません。トイレの設置をお願いします。
- ・人口増加が進んでいます。住みよい土地として福祉関係事業に力を入れてください。
- ・芝支所に図書館分室を開設してほしい
- ・川口駅周辺の事業ばかりではなく、整備を必要としている例えば浄化槽地域の下水道整備や洪水対策を進めてほしい。
- ・環境センターについて、現在、朝日と戸塚にありますが、他にも一カ所建設したらどうか。
- ・芝地区は、世代交代により新築住宅も多く、子育て世代が増加してきました。図書館や児童館などを増設してほしい。
- ・小谷場公園に児童館、芝支所に図書館など、雨の日でも子どもや子育て中の母親が安心して過ごせる場所の建設を！
- ・ブラック校則やいじめ問題への取り組みをしっかりとしてほしい
- ・ゴミ収集方法の個別化・有料化について検討してほしい
- ・既に存在しないキューボラをいまだにPRするのではなく、独自性のある産業、教育、文化を誇れる市にすべき。
- ・学校給食費無料化は必要
- ・保育士の処遇改善をしてほしいです。川口は、地域手当も少なく他市に比べて保育士に優しくない。
- ・子育てにお金がかからない街をお願いします。
- ・東日本大震災時に出来たともわれる、歩道の陥没などがいまだにそのまま。とても危険なので何とかしていただきたい。
- ・川口駅周辺にばかり力を入れ過ぎ。 ※多数意見

政務活動報告書（個表）

管理番号	7-2	作成 7月31日
会派(議員)名	立憲新風会 木岡 崇	
実施年月日	2022年7月11日	
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費
	内 容	市民への市政報告のための市政レポート40号の 追加印刷費・封入封緘資材費とクロネコDM便代金として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
	金 額	238,055円 (消費税込)
支出の内容	内 訳	領収書別添 市政レポート40号の追加印刷費・封入封緘作業費として 2,186枚×@23円=50,278円(税別) 市政レポート40号の配布のためのクロネコDM便代金として 2,186通×@76円=166,136円(税別) (50,278円+166,136円)×1.1=238,055円(税込) ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
	備 考	

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	7-2
-----------	-----

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 書

木岡 崇 御中

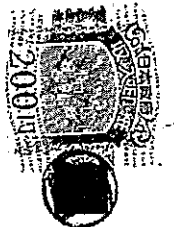
¥238,055

但し 市政レポート40号 印刷費(再版)+DM便 2,186枚 代金として
2022年7月11日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥21,641-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシ



024-934-2489/024-934-2493

請求書

17-2

№00944

2022年 06月 29日



木岡 崇 御中

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ

024-934-2489/024-934-2493



下記の通り御請求致します。
銀行/支店 大東銀行 朝日支店
口座番号
口座名義 有限会社プリントニシダ

合計金額 ￥238,055- (消費税込)

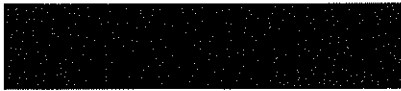
品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポート40号 印刷費 (再版追加)	2,186	枚	23	50,278	
クロネコDM便	2,186	通	76	166,136	
小計				216,414	
消費税 (10%)				21,641	
合計				238,055	
備考：市政レポート40号 A3 2つ折り コート90K 両面カラー データ制作費+印刷費					

納品書

7-2

No00944

2022年 06月 29日



木岡 崇 御中

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ

024-934-2489/024-934-2493

下記の通り納品致しました。

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポート40号 印刷費 (再版追加)	2,186	枚	23	50,278	
クロネコDM便	2,186	通	76	166,136	
小計				216,414	
消費税 (10%)				21,641	
合計				238,055	
備考：市政レポート40号 A3 2つ折り コート90K 両面カラー データ制作費+印刷費					

川口市議会議員 46歳

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート

Vol.40 2022.3

発行責任者 木岡たかし
[連絡先]

TEL

Mail

立憲
民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心できる医療と介護を実現します！



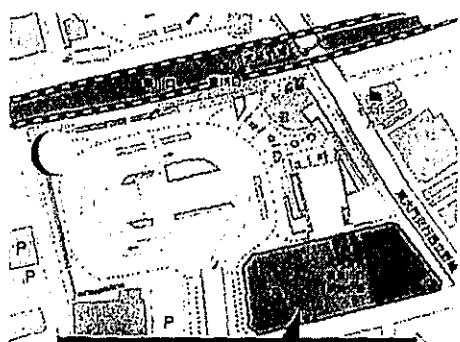
川口市の将来のための

アンケートへのご協力ありがとうございました

2021 年末より実施しましたアンケートに対して、市民の皆さんから多くのご回答をいただきました。今回の市政レポートでは、アンケート結果やお寄せいただいたご意見を紹介したいと思います。

お寄せいただいたすべてのご意見について真摯に受け止めて、市政に一つでも多く反映できるよう努めていきます。引き続き、皆さんの貴重なご意見をお聞かせいただければ幸いです。

● 東川口駅前行政センターについてのアンケート結果 ●



東川口駅前行政センター 建設地

現在、東川口駅南口にて建設が始まっている（仮称）東川口駅前行政センターは、18 階建ての高層建築物となります。しかし行政センターとして使用するのは 1 階と 2 階のみで、3 階から 18 階までは分譲マンションとして、すでに販売が始まっています。

わたし木岡は、今からでも川口市として 3 階、4 階を買い戻すなどして、公民館や図書館、保育所、商業施設などを設けるべきではないかと提案してきました。

そこで、市民が使える施設とする計画変更を行うべきか否かについてお尋ねしました。

アンケート結果

市民が使える施設を現計画より多く設けることを求める意見が多かった

ア) 今の計画のままで良い

..... 2.9%

イ) 3階、4階を取得して市民が使える施設とすべき

..... 86.7%

ウ) その他 7.3%

[2Pにつづく]

木岡たかし [profile] 木岡たかし 検索

木岡崇。



7-2

【市側のわずかな変化】

東川口駅前行政センター内に公民館や図書館、保育所、商業施設などを求める地域の声を受けて、これまで市側に計画変更を求めてきましたが、残念ながら市民が利用できる施設の床面積拡大は行われないまま粛々と工事が進められ、分譲マンションの販売も始まっています。

ただし、市民の声を無視できなかったためか、市側は以下のわずかな変更を検討しております。

- ①設計当初は職員用の会議室であったスペース（約160㎡）について、市民にも貸し出せる会議室とする方針転換がなされる見込み
- ②設計当初は計画になかった図書館のブックポスト（返却のみ）を設置する見込み

これらの方針転換は、わずかな改善ではありますが、一歩進んだと思います。

【この問題の今後について】

〈戸塚支所の跡地をどう活用するか〉

今後は、駅前行政センターの設置に伴い閉所となる戸塚支所の跡地の利用について、地域住民にとって有用な施設となる様に提案していきますので、皆さんのご意見をお聞かせください。

さらに戸塚体育館も含めて川口市北東部の公共施設の在り方について、地域の皆さんのご意見に基づいた計画を立てることを市側に提案し実現できるよう取り組んでいきます。

● 川口市美術館建設計画についてのアンケート結果 ●



2021年6月に示された「川口市美術館建設基本計画」では、「旧栄町公民館跡地を含む川口市栄町3丁目11番地区（川口駅前）の再開発事業により美術館建設を目指します」とし、調査が始まっています。

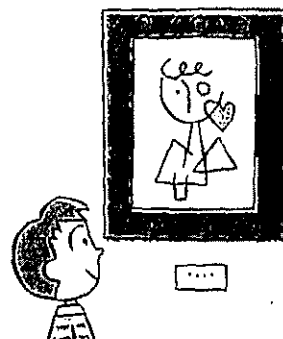
わたし木岡は、再開発事業となれば、多額の税金が必要となる上、また川口駅周辺ばかりに税金が投入される点も問題だと指摘し、これからの川口市に、「本当に市立美術館建設が必要なのか」「財政的に成り立つのか」など計画中止も含めて慎重な議論をすべきと提案してきました。

その上で、市立美術館構想の在り方について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

美術館建設の計画中止も含めて見直す、
もしくは計画中止を求める意見が多かった

- ア) 基本計画通りに市立美術館を建設する 7.6%
- イ) 美術館建設について計画中止も含め見直す . . . 74.5%
- ウ) その他 12.2%



【この問題の今後について】

現在、市立美術館建設は、旧栄町公民館跡地だけではなく、川口駅西口にある西公園の一部に建設する案も出され、市長が前向きに検討に入るとみられます。

しかし、建設場所がどこであれ、建設費用に多額の税金が必要になること、建設後も美術品の収集・所蔵・維持管理などに多額の費用がかかることには変わりはありません。

今後、子どもたちへの行政投資が欠かせないこと、いっそう高齢化が進むことなどが明白な今、川口市の将来を考えれば、多額の税金を要する市立美術館の建設は慎重に扱うべき課題であると思います。

引き続き、計画中止を求める方向で取り組みます。

！ 川口市美術館建設計画についての【木岡の提案】

わたし木岡は、多額の建設費に税金をつぎ込むのではなく、市外の美術館を市民が利用するときの市民割引制度を提案していこうと考えています。市民が川口市近郊の美術館など（例えば浦和の埼玉県立近代美術館や上野の東京都美術館、国立西洋美術館、国立博物館など）を無償もしくは割安で利用できる方が、市民にとって「美術」「芸術」「文化」を身近に感じることにつながるのではないのでしょうか。その上、この方法なら美術館建設より財政的負担も少なくできます。

● 川口駅への中距離電車停車についてのアンケート結果 ●

市長と自民党会派がこだわっている川口駅への中距離電車停車については、JR東日本側から中距離電車の川口駅への停車について繰り返し難色を示されてきた上に、中距離電車を停車させる場合には **400 億円以上の多額の市側負担を求められていて、事実上、行き詰っています。**（JR東日本が鉄道事業者として、自らの予算で川口駅に停車する路線を増やしたり、駅舎を改修していただければ是非とも実現してほしいですが・・・）

もし多額の市民の税金を投入してまで川口駅への中距離電車停車にこだわることになれば、また川口駅周辺に（かり税金が投じられることになり、市内の均衡ある発展に反します。

ですから、わたし木岡は川口駅への中距離電車の停車にこだわらず、**埼玉高速鉄道の定期券や普通運賃の値下げなどを実施して利用拡大を図ることが、**将来の川口市全体を考えた交通網の在り方だと提案してきました。その上で、川口駅への中距離電車停車について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

川口駅への中距離電車停車にこだわらず、
埼玉高速鉄道（SR）の定期券や
普通運賃の値下げを求める意見が多かった

- ア) 川口駅への中距離電車停車のためには
駅舎改修費用など多額の税金投入も必要・・・4.2%
- イ) 川口駅への中距離電車停車にこだわらず、川口市全体の交通体系を
考慮したまちづくりについて考える・・・83.8%
- ウ) その他・・・8.4%

【この問題の今後について】

現在、川口駅への中距離電車停車については、暗礁に乗り上げたままと言えます。引き続き、川口市が多額の税金を負担する前提の計画については撤回を迫っていきます。もしくは市側負担の大幅な軽減を実現するように取り組みます。

同時に、川口駅周辺だけではなく、市内の均衡ある発展を実現すべく埼玉高速鉄道を最大限活用できるように以下の項目を中心に取り組んでいきます。

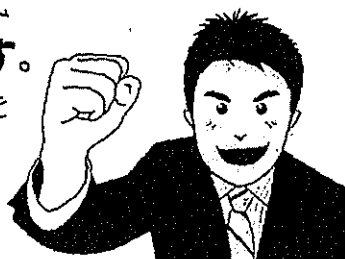
！ 埼玉高速鉄道にかかわって 【木岡が取り組む大きなテーマ3つ】

- ①岩槻までの延伸は必要か慎重に検討し、市民の声を聞き市政に届ける
- ②通勤定期券の値下げ
- ③普通運賃の値下げ



アンケートで寄せられた多くのご意見のうちの一部を紹介いたします。

※紙面の都合上ごく一部になってしまいましたが、記入していただいた全てのご意見を
読ませていただきました。



◆「東川口駅前行政センターについて」

- ・多目的ホール、サテライトオフィス、野菜の直売所、災害用備蓄品倉庫を
- ・地域ごとにバランスよく図書館を 駅前に図書館は必要（戸塚図書館が不便という意見もあり） ※多数意見
- ・出来るだけ多くの市民が利用できる施設にしてほしい。
- ・商業施設（コンビニ、スーパーなど）があれば良いと思う。 ※多数意見
- ・駅周辺には、待ち合わせに利用できる場所が少ないので「カフェ」などにも入ってほしい。
- ・駅前をもっと便利でにぎやかにしてほしい。商業施設も少なくあまりにも寂しい。
- ・そもそもマンションにはなってほしくなかった。あきらめていましたが、気持ちを奮ける機会があつてうれしかった。

◆「川口市立美術館計画について」

- ・もっと先にすべきことがあるのでは？
- ・場所を考え直してほしい。
- ・川口市にどうしても美術館が必要なのか疑問、そんな余裕があるとは思えない。
- ・多額の建設費と美術品購入費が使用されるなら中止すべき。
- ・その予算で、東川口周辺にも、もう少しお金を使ってほしい。
- ・誰が望んでいるのか？ほとんどの市民が知らない。コソコソ準備してきた感じ。
- ・市内にシンボルとなる美術館が建設されれば、一市民として嬉しく思う。
- ・安行北谷は行政のはずれで、たたら荘や図書館等の利用が難しい。図書館が必要。美術館より図書館を
- ・大反対です。川口駅周辺ばかり再開発しているのも不満。美術館は、都内に行けばすむ話。
- ・税金は、市民生活にこそ利用されるべきであって、無くても困らない施設等に税金を使うのは無駄です。
- ・美術館は不要。収支の合う事業とは思えない。税金で赤字補てんしながら運営するようになるのは反対です。
- ・必要ない、上野をはじめ都内には美術館が沢山ある。川口市民は、アクセスの良い東京の美術館に行けば良い。 ※多数意見
- ・美術館に多額の税金を投入するのは反対ですが、美術館があればいいなと思います。

◆「川口駅への中距離電車停車について」

- ・川口駅に停車した場合、次停車駅の赤羽はあまりにも近すぎる
- ・川口駅周辺ばかりに税金を使うのではなく、全体的な利便性を見直すべき。
- ・埼玉高速鉄道は高すぎる。 ※多数意見
- ・埼玉高速鉄道の定期券のみならず運賃値下げで利用拡大を図ってほしい。人流も分散するので中距離電車の停車も不要。便利になって、川口市の人口も増える。

◆「その他」

- ・差間から北原台に抜ける道路の開通を
- ・差間から東川口1丁目に抜ける地下道の安全確保と高架化を
- ・各種給付金・補助金の所得制限撤廃を
- ・JR東川口駅への暴風壁の設置を
- ・ブラック校則やいじめ問題への取り組みをしっかりとしてほしい
- ・ゴミ収集方法の個別化・有料化について検討してほしい
- ・東川口駅と東浦和駅の間に駅を作してほしい。
- ・埼玉高速鉄道の増便とJR東川口駅のホームドアの設置を
- ・既に存在しないキューポラをいまだにPRするのではなく、独自性のある産業、教育、文化を誇れる市にすべき。
- ・学校給食費無料化は必要
- ・戸塚保育所の設備が古すぎる。スペースも無駄が多い。
- ・保育士の処遇改善をしてほしいです。川口は、地域手当も少なく他市に比べて保育士に優しくない。
- ・子育てにお金がかからない街をお願いします。
- ・東日本大震災時に出来たともわれる、歩道の陥没などがいまだにそのまま。とても危険なので何とかしていただきたい。
- ・川口駅周辺にばかり力を入れ過ぎ。 ※多数意見

川口市議会議員 46歳

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート

Vol.40 2022.3

発行責任者 木岡たかし
〔連絡先〕

TEL

Mail

立憲
民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心できる医療と介護を実現します！



川口市の将来のための

アンケートへのご協力ありがとうございました

2021 年末より実施しましたアンケートに対して、市民の皆さんから多くのご回答をいただきました。今回の市政レポートでは、アンケート結果やお寄せいただいたご意見を紹介したいと思います。

お寄せいただいたすべてのご意見について真摯に受け止めて、市政に一つでも多く反映できるよう努めていきます。引き続き、皆さんの貴重なご意見をお聞かせいただければ幸いです。

● 川口市美術館建設計画についてのアンケート結果 ●



2021 年 6 月に示された「川口市美術館建設基本計画」では、「旧栄町公民館跡地を含む川口市栄町 3 丁目 11 番地区（川口駅前）の再開発事業により美術館建設を目指します」とし、調査が始まっています。

わたし木岡は、再開発事業となれば、多額の税金が必要となる上、また川口駅周辺ばかりに税金が投入される点も問題だと指摘し、これからの川口市に、「本当に市立美術館建設が必要なのか」「財政的に成り立つのか」など計画中止も含めて慎重な議論をすべきと提案してきました。

その上で、市立美術館構想の在り方について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

美術館建設の計画中止も含めて見直す、もしくは計画中止を求める意見が多かった

- ア) 基本計画通りに市立美術館を建設する
..... 7.6 %
- イ) 美術館建設について計画中止も含め見直す
..... 74.5 %
- ウ) その他
..... 12.2 %

[2Pにつづく]

木岡たかし [profile] 木岡たかし 検索

木岡崇。



7-2

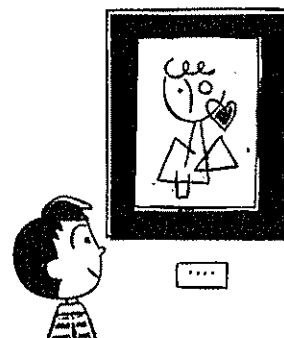
【この問題の今後について】

現在、市立美術館建設は、旧栄町公民館跡地だけではなく、川口駅西口にある西公園の一部に建設する案も出され、市長が前向きに検討に入るとみられます。

しかし、建設場所がどこであれ、建設費用に多額の税金が必要になること、建設後も美術品の収集・所蔵・維持管理などに多額の費用がかかることに変わりはありません。

今後、子どもたちへの行政投資が欠かせないこと、いっそう高齢化が進むことなどが明白な今、川口市の将来を考えれば、多額の税金を要する市立美術館の建設は慎重に扱うべき課題であると思います。

引き続き、計画中止を求める方向で取り組みます。



！川口市美術館建設計画についての【木岡の提案】

わたし木岡は、多額の建設費に税金をつぎ込むのではなく、市外の美術館を市民が利用するときの市民割引制度を提案していこうと考えています。市民が川口市近郊の美術館など（例えば浦和の埼玉県立近代美術館や上野の東京都美術館、国立西洋美術館、国立博物館など）を無償もしくは割安で利用できる方が、市民にとって「美術」「芸術」「文化」を身近に感じることにつながるのではないのでしょうか。その上、この方法なら美術館建設より財政的負担も少なくできます。

●川口駅への中距離電車停車についてのアンケート結果●

市長と自民党会派がこだわっている川口駅への中距離電車停車については、JR東日本側から中距離電車の川口駅への停車について繰り返し難色を示されてきた上に、中距離電車を停車させる場合には **400 億円以上の多額の市側負担を求められていて、事実上、行き詰っています。**（JR東日本が鉄道事業者として、自らの予算で川口駅に停車する路線を増やしたり、駅舎を改修していただくならば是非とも実現してほしいですが・・・）

もし多額の市民の税金を投入してまで川口駅への中距離電車停車にこだわることになれば、また川口駅周辺にばかり税金が投じられることになり、市内の均衡ある発展に反します。

ですから、わたし木岡は川口駅への中距離電車の停車にこだわらず、**埼玉高速鉄道の定期券や普通運賃の値下げなどを実施して利用拡大を図ることが、**将来の川口市全体を考えた交通網の在り方だと提案してきました。その上で、川口駅への中距離電車停車について皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果 →

川口駅への中距離電車停車にこだわらず、埼玉高速鉄道（SR）の定期券や普通運賃の値下げを求める意見が多かった

ア) 川口駅への中距離電車停車のためには

駅舎改修費用など多額の税金投入も必要・・・4.2%

イ) 川口駅への中距離電車停車にこだわらず、川口市全体の交通体系を

考慮したまちづくりについて考える・・・83.8%

ウ) その他・・・8.4%



【この問題の今後について】

現在、川口駅への中距離電車停車については、暗礁に乗り上げたままと言えます。引き続き、川口市が多額の税金を負担する前提の計画については撤回を迫っていきます。もしくは市側負担の大幅な軽減を実現するように取り組みます。同時に、川口駅周辺だけではなく、市内の均衡ある発展を実現すべく埼玉高速鉄道を最大限活用できるように以下の項目を中心に取り組んでいきます。

！ 埼玉高速鉄道にかかわって 【木岡が取り組む大きなテーマ3つ】

- ①岩槻までの延伸は必要か慎重に検討し、市民の声を聞き市政に届ける
- ②通勤定期券の値下げ
- ③普通運賃の値下げ

● 川口オートレース場の今後について ●

川口オートは、川口市の発展において必要不可欠な役割を果たしてきましたが、時代の変化とともに、現在は赤字スレスレの非常に苦しい経営状況にあります。また施設の老朽化も深刻化しております。

そこで、川口市にとって今後のオートレース場はどうあるべきなのか、10年後、20年後、もっと先の未来も見通しつつ、オートレース場の将来像について、議論が必要だと考えて皆さんにお尋ねしました。

アンケート結果

オートレース場の事業転換も含めた議論をスタートすべきと
ご意見が多勢ではありましたが、川口市のシンボルでもある
オートレース場は存続すべきとのご意見も一定数あった

- ア) 今のままオートレース場として存続させる 18.7%
イ) オートレース場の事業転換をも含めた今後の在り方の議論をスタートさせる 59.3%
ウ) その他 9.3%

【全国のオートレース場の現状について】

この間、船橋市が「売上減少状況が続く中で、施設改修費用を捻出するのは困難」という理由から、2016年3月31日をもって船橋オートを廃止しました。そのため全国に6会場あったオートレース場は現在、川口を含めて5会場となっています。

残された5会場についてもそれぞれ財政的に厳しい運営が続いているのが現状です。



【この問題の今後について】

川口オートレース場は川口市にとって欠かせない存在だとしてご指摘もいただきます。

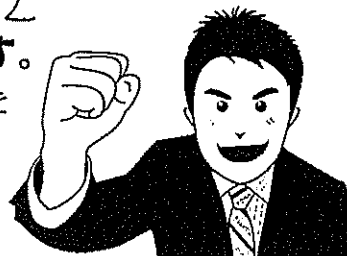
現在、川口オートレース場は、公営競技事務所を先頭に経営安定化を目指して様々な努力が続けられております。ですから当面は、この努力を後押ししていきたいと思えます。

ただ、このままではオートレース場の運営は行き詰まります。実際のところ赤字の公営ギャンブルを税金で支え続ける余裕は、今の川口市には無いと思えます。ですから、冷静に現状分析をした上で、オートレース場の将来像については、今から聖域のない議論をしていくべきだと考えます。

そして、赤字回避にとどまらず、川口市に人を呼び込めるようなオートレース場の活用策の検討も必要だと思いますので、そうした視点でのアイデアなどいただけると幸いです。

アンケートで寄せられた多くのご意見のうちの一部を紹介いたします。

※紙面の都合上ごく一部になってしまいましたが、記入していただいた全てのご意見を
読ませていただきました。



◆「川口市立美術館計画について」

- ・もっと先にすべきことがあるのでは？
- ・場所を考え直してほしい。
- ・川口市にどうしても美術館が必要なのか疑問、そんな余裕があるとは思えない。
- ・多額の建設費と美術品購入費が使用されるなら中止すべき。
- ・誰が望んでいるのか？ほとんどの市民が知らない。コソコソ準備してきた感じ。
- ・市内にシンボルとなる美術館が建設されれば、一市民として嬉しく思う。
- ・安行北谷は行政のはずれで、たたら荘や図書館等の利用が難しい。図書館が必要。美術館より図書館を
- ・大反対です。川口駅周辺ばかり再開発しているのも不満。美術館は、都内に行けばすむ話。※多数意見
- ・税金は、市民生活にこそ利用されるべきであって、無くても困らない施設等に税金を使うのは無駄です。
- ・美術館は不要。収支の合う事業とは思えない。税金で赤字補てんしながら運営するようになるのは反対です。
- ・必要ない、上野をはじめ都内には美術館が沢山ある。川口市民は、アクセスの良い東京の美術館に行けば良い。
- ・美術館に多額の税金を投入するのは反対ですが、「美術館があればいいな」とは思います。

◆「川口駅への中距離電車停車について」

- ・川口駅に停車した場合、次停車駅の赤羽はあまりにも近すぎる
- ・川口駅周辺ばかりに税金を使うのではなく、全体的な利便性を見直すべき。
- ・埼玉高速鉄道は高すぎる。 ※多数意見
- ・埼玉高速鉄道の定期券のみならず運賃値下げで利用拡大を図ってほしい。
- ・人流も分散するので中距離電車の停車も不要。川口市の人口も増える。
- ・川口駅への中距離電車停車ではなく、蕨～南浦和の間に駅を新設してほしい。

◆「川口オートレース場の今後について」

- ・オートは文化である。事業転換は、この街から文化だとか潤いを消そうという愚行である。
- ・川口オートは、公営ギャンブルではありますが、二輪文化の担い手としての側面も持ってる。
事業転換というマンション化などには反対。
- ・市内に一つぐらい娯楽施設があっても良い。
- ・スポーツをとおした、青少年健全育成となる場がほしい。
- ・利益が無いならば、他の有効活用を考えるべき。

◆「その他」

- ・私たちの地域では市役所に行くのも車が無ければ大変です。
川口駅周辺ばかりの発展で年寄り置いてきぼりの様で寂しい限りです。
- ・柳崎第6公園は、避難所となっておりますが公園トイレがありません。トイレの設置をお願いします。
- ・人口増加が進んでいます。住みよい土地として福祉関係事業に力を入れてください。
- ・芝支所に図書館分室を開設してほしい
- ・川口駅周辺の事業ばかりではなく、整備を必要としている例えば浄化槽地域の下水道整備や洪水対策を進めてほしい。
- ・環境センターについて、現在、朝日と戸塚にあります。他にも一カ所建設したらどうか。
- ・芝地区は、世代交代により新築住宅も多く、子育て世代が増加してきました。図書館や児童館などを増設してほしい。
- ・小谷場公園に児童館、芝支所に図書館など、雨の日でも子どもや子育て中の母親が安心して過ごせる場所の建設を！
- ・ブラック校則やいじめ問題への取り組みをしっかりとしてほしい
- ・ゴミ収集方法の個別化・有料化について検討してほしい
- ・既に存在しないキューポラをいまだにPRするのではなく、独自性のある産業、教育、文化を誇れる市にすべき。
- ・学校給食費無料化は必要
- ・保育士の処遇改善をしてほしいです。川口は、地域手当も少なく他市に比べて保育士に優しくない。
- ・子育てにお金がかからない街をお願いします。
- ・東日本大震災時に出来たともわれる、歩道の陥没などがいまだにそのまま。とても危険なので何とかしていただきたい。
- ・川口駅周辺にばかり力を入れ過ぎ。 ※多数意見

政務活動報告書（個表）

管理番号		(1-1)		作成 11月30日	
会派(議員)名		立憲新風会 木岡 崇			
実施年月日		2022年11月24日			
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費			
	内 容	市民への市政報告のための市政レポート41号の制作および印刷代として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること			
	金 額	364,017円 (消費税込)			
支出の内容	内 訳	領収書別添 市政レポート41号の制作および印刷費として $42,700 \text{ 枚} \times 7.75 \text{ 円} = 330,925 \text{ 円 (税抜)}$ $330,925 \text{ 円} \times 1.1 = 364,017 \text{ 円 (税込)}$ ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること			
	備 考				

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号
※ 11-1

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 書

木岡 崇 御中

¥364,017.00

但し 市政レポート41号 印刷費 42,700枚 代金として
2022 年 11 月 24 日 上記の金額正に領収致しました。

内訳

消費税	金額
	¥33,092-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシ



024-934-2489/024-934-2493

請求書

No01000

2022年 11月 10日

11-1

木岡 崇 御中

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ

024-934-2489/024-934-2493

下記の通り御請求致します。

銀行/支店 大東銀行 朝日支店

口座番号

口座名義 有限会社プリントニシダ

合計金額 ￥364,017- (消費税込)

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポート41号	42,700	枚	7.75	330,925	
小計				330,925	
消費税(10%)				33,092	
合計				364,017	

備考：市政レポート41号 A3 2つ折り コート90K 1C+1C
データ制作費+印刷費

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート

発行責任者 木岡たかし
〔連絡先〕

TEL

Mail

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心して生活できる街を実現します！

【いま政治に求められること！】

いま政治に求められていることは、予算配分の優先順位を間違えない事であると思います。

地方自治体では予算を無尽蔵に捻出することはできませんから、今ある予算の中で、どの施策に優先的に税金を投入することが市民にとって最善なのかを、しっかりと判断することが必要です。

2022年9月市議会定例会 一般質問

！ 子育てにかかわる木岡の提案

1. 小中学校の給食費無償化を

いまの急激な物価高の中で、給食費（子ども2人なら年間9万円程度）が無償化されれば、子育て世帯の家計が助かるだけでなく、無償化された分の多くが消費に回り、地域経済の活性化にもつながります。

(2Pにつづく)

目次

- 2022年9月市議会定例会一般質問 P1-P2
- コラム ～子育て支援は全世代のため～ P2
- 川口市の財政状況について知ってください。 P3
- 市政・県政の気になる動き P4
- 要望活動中！ 他 P4

木岡たかし [profile]

木岡たかし 検索

木岡崇。



2. 小中学校の「教材費」無償化を

小中学校において、保護者から徴収している年間数万円にもなる「教材費」を無償とすべきです。

学校は、教材費で各種テスト、色画用紙、ファイル、各種ドリル、資料集、コピー用などを購入していますが、これらはどれも授業に必要不可欠な教材ばかりです。

義務教育課程で、どの子にも経済的事情に左右されることなく教育を提供するのであれば、『義務教育は無償』の観点から、これらの費用は行政が負担すべきだと提案しています。

3. 第二子以降の保育料無償化を

子育て世帯にとって、高い保育料は非常に深刻な問題です。最大で月額7万円もする保育料の負担軽減をすべきだと思います。深刻な少子化に歯止めを少しでもかけるためにも、第二子以降の保育料は、無条件で無償とすべきだと提案しています。

4. 高校卒業時までの医療費無償化を

未来を担う子どもたちが少しでも不安な時期は、安心して医療を受けられる体制を子育て世帯に提供するため、医療費無償化の対象を高校卒業まで無条件で提供すべきと提案しています。

5. 児童手当の所得制限の撤廃を

施策として出生数を増やしたいのであれば、どの世帯の子どもにも児童手当を支給して、広く子育てを応援することこそ必要なのはです。

児童手当は国の制度のため、一義的には国の責任ではありますが、川口市が率先して独自にでも所得制限の廃止に取り組むことを提案しています。

コラム

～子育て支援は全世代のため～

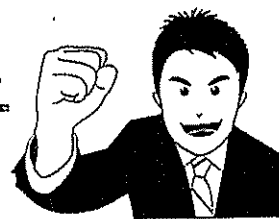
なぜ子育て支援にこだわるのか？

それは、子育てしやすくなり出生数が増えれば、より深刻化する高齢者の年金・介護・医療などの問題も改善できるからです。現に、年金や医療を支えている中心は現役世代です。

少子化は現役世代が減ることになり、将来の年金や医療にも打撃となります。

ですから、年配者の皆さんにも子育て支援策にご理解をいただきたいのです。

社会に子どもが増えて悪いことはありません。社会を活性化させて、力強く動かすことができるのも未来を担う子どもたちです。わたし木岡は、子育て支援にこだわり続けます。



■ 川口市の財政状況について知ってください。

川口市の財政状況は、決して裕福とは言えませんが、市民サービスを十二分に向上させることができるだけの余力はあります。その余力を、どの分野に優先的に配分するかが市政に問われています。

事業の優先順位と内容を見直せば、子育て支援策や高齢者支援策の充実を図る予算は確保できます！

現市長は、川口駅への中距離電車の停車であったり、時代に対応していない街路整備事業であったり、代替策が考えられる市立美術館構想など、旧来型の箱モノ行政と言える施策に優先的に予算配分しています。

わたし木岡は、こうした時代錯誤の行政は転換し、子育てや高齢者の暮らしやすい街づくりに優先的に予算配分すべきだと考えております。

事業計画を見直せば、 「子育て・高齢者支援」の財源は作れます！

❗ 木岡の提案その1 《川口駅への中距離電車の停車にかかわる川口市の費用負担について》

● 線路もホームも川口市が全額負担 300 億円～400 億円 ●

現市長は、川口駅に中距離電車を止めようとしておりますが、わたし木岡の質問で、新たな線路やホームの建設費用を全額川口市が負担することが明らかになりました。川口駅は、川口市の街の顔ともなり得る場所ですから「行政財産を1円も出すべきではない」とは思いませんが、鉄道事業者が営業活動をする線路やホームを、金額、川口市民の税金で建設する必要があるのでしょうか。その費用も300億円とも400億円とも言われています。川口市の一般会計予算は年間約2100億円。400億円はその2割に相当し、一自治体が負担するには大きすぎます。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

❗ 木岡の提案その2 《街路整備事業の見直し》

● 時代のニーズに合わない街路整備事業に300億円以上の税金 ●

川口駅を中心とした道路を整備する街路整備事業という事業があります。私が生まれる前の60年以上も前に計画された事業ですが、時代のニーズや車の所有形態までもが変化している現在においてもなお、長期間未整備となっている事業です。にもかかわらず毎年数億円～十数億円の税金が投じられております。さらに、完成までには300億円以上の税金が必要と言われているのです。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

❗ 木岡の提案その3 《市立美術館構想について》

● 建設費だけでも30億円!? ●

市立美術館構想は、建設地が決まらず現在迷走しておりますが、建設基本計画で示された必要面積を建築しようとするれば、最低でも20億円、美術館のような特殊建築物となれば30億円を超えると指摘されています。

さらに美術館は建設して終わりとはなりません。維持・管理に多額の費用がかかることは全国美術館の例から明らかです。優先して税金を投入すべき施策とは思えません。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

■ 市政・県政の気になる動き

《埼玉高速鉄道の岩槻延伸計画について》

開業当初から運賃の高さが指摘されてきた埼玉高速鉄道ですが、多くの沿線住民や利用者の方の声を受けて、川口市とさいたま市、埼玉県が債務免除等も行い、単年度黒字化の実現を経て、通学定期券の値下げ等を実現してきました。

わたし木岡も、川口市北東部の発展には、埼玉高速鉄道の活用が欠かせないとの視点から、運賃や定期券の値下げについて、提案を繰り返してきました。

しかし、ここにきて、気になる動きがあります。埼玉高速鉄道を浦和美園より北側の岩槻駅まで延伸する計画についてです。現在、さいたま市が引っ張る形で議論が始まっておりますが、川口市民からするとデメリットしかないと感じております。

無理に岩槻への延伸を進めれば、定期券や普通運賃の値下げが遠のくことになりかねません。

◆木岡の考え◆

首都圏の人口集積地の路線でも減便などが迫られる中で、埼玉高速鉄道を人口減少地域である岩槻まで延伸するメリットは見出せません。**延伸に反対していきます。**

また、延伸協議の際には、川口市民や既設区間利用者にとって、不利益が生じないように、市としての意向を伝えるよう市議会で求めました。

◆調べてみると・・・

- 岩槻区の将来人口予測は、今後10年間で約9,000人減
- JR東日本は、輸送収入がコロナ前に回復することは難しいと見込み、首都圏各線の減便や鉄道事業の職員を削減
- 東京メトロは、利用者の回復が見込めないことなどを理由に、8月末から主要4路線の運行本数を平均7.8%削減

【要望活動中!】

《武蔵野線の東川口駅・東浦和駅・南浦和駅のホームドア&暴風雨壁の早期設置を》

武蔵野線の東川口駅、東浦和駅、南浦和駅には、ホームドアの設置がされていません。

ご利用者の安全性のためにも一日も早い設置を求めています。JR 東日本は、2031年度末までの整備予定との回答にとどまっております。

10年近く先では遅すぎると思います。こうした市民の安全向上に必要なホームドアの設置こそ、市が補助金を出してでも優先的に取り組むべき施策だと引き続き提案していきます。

また、防風壁の無い東川口駅のホームは、風雨が激しい日は、電車が来るまでホームに上がることすらためらうほどひどい状況です。

東川口駅への一日も早い防風壁の設置についても求めています。

《夜間の学校施設の利用時におけるエアコンの使用について》

現在、小学校・中学校などの体育館を地域で活動されている団体に貸し出しておりますが、その際に、エアコンがあるのに『夜間体育館利用団体』には使用が禁止されている実態があります。

今年の夏も本当に暑く、夜になっても25度を下回らない熱帯夜が多くありました。運動をされる市民の健康を考えても設置されているエアコンを使用するなという合理的理由は全くありません。利用規定を整備して使用できるように提案しております。

◆離党について

わたし木岡は、2017年に「草の根からの民主主義」を掲げて結党した立憲民主党に、より良い社会を実現するチャンスだと思い入党しました。しかしながら、最近の政党の紆余曲折から、私の政治信条とのズレが生じたため、立憲民主党を離党いたしました。立憲民主党だからと応援いただいた皆様、ご期待に添えず大変申し訳ありませんでした。

政務活動報告書（個表）

作成 11月30日

管理番号		11-2	
会派(議員)名		立憲新風会 木岡 崇	
実施年月日		2022年11月24日	
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費	
	内 容	市民への市政報告のための市政レポート41号のポスティング費用として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること	
	金 額	198,000円 (消費税込)	
支出の内容	内 訳	領収書別添 市政レポート41号のポスティング費用として $40,000 \text{ 枚} \times @4.5 \text{ 円} = 180,000 \text{ 円 (税抜)}$ $180,000 \text{ 円} \times 1.1 = 198,000 \text{ 円 (税込)}$ ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること	
	備 考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号
※ 11-2

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 証

木岡 たかし

様

No. 2212801

★ 198,000 -

但 所収レポート41号おスイング費用とシ (数量4000枚 × 単価4.5円 = 18000円)

令和4年 11 月 24 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
		18,000
	10 %	消費税額等 1,800
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等



株式会社クローバー

代表取締役 矢崎 良介

〒332-0015 埼玉県川口市川口2-15-20

TEL 048-291-8214 FAX 048-291-8217



D211R18

木岡たかし 様

株式会社クローバー
〒332-0015
埼玉県川口市川口2-15-20
TEL:048-291-8214 / FAX:048-291-8217
担当

御請求日 2022年11月21日
御支払日 2022年12月31日

【2022年11月】御請求書

このたびは御依頼いただきまして誠にありがとうございます。
下記のとおり御請求申し上げます。

種別	商品名	内容	数量	単価	金額
ポスティング	木岡たかし 政策レポート	A4冊子 10/21~11/11	40,000	4.50	180,000

備考

小計 180,000
消費税(10%) 18,000
合計 ￥198,000

お振込み先口座

三井住友銀行 高円寺支店(089)

株式会社クローバー

※お振込み手数料は貴社にて御負担くださいますようお願い申し上げます。

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心して生活できる街を実現します！

【いま政治に求められること！】

いま政治に求められていることは、予算配分の優先順位を間違えない事であると思います。

地方自治体では予算を無尽蔵に捻出することはできませんから、今ある予算の中で、どの施策に優先的に税金を投入することが市民にとって最善なのかを、しっかりと判断することが必要です。

■ 2022 年 9 月市議会定例会 一般質問

！ 子育てにかかわる木岡の提案

1. 小中学校の給食費無償化を

いまの急激な物価高の中で、給食費（子ども2人なら年間9万円程度）が無償化されれば、子育て世帯の家計が助かるだけではなく、無償化された分の多くが消費に回り、地域経済の活性化にもつながります。

(2Pにつづく)

目次

- 2022 年 9 月市議会定例会一般質問 P1-P2
- コラム ～子育て支援は全世代のため～ P2
- 川口市の財政状況について知ってください。 P3
- 市政・県政の気になる動き P4
- 要望活動中！ 他 P4

木岡たかし [profile]

木岡崇。

木岡たかし 検索



2. 小中学校の「教材費」無償化を

小中学校において、保護者から徴収している年間数万円にもなる「教材費」を無償とすべきです。

学校は、教材費で各種テスト、色画用紙、ファイル、各種ドリル、資料集、コピー用などを購入していますが、これらはどれも授業に必要不可欠な教材ばかりです。

義務教育課程で、どの子にも経済的事情に左右されることなく教育を提供するのであれば、『義務教育は無償』の観点から、これらの費用は行政が負担すべきだと提案しています。

3. 第二子以降の保育料無償化を

子育て世帯にとって、高い保育料は非常に深刻な問題です。最大で月額7万円もする保育料の負担軽減をすべきだと思います。深刻な少子化に歯止めを少しでもかけるためにも、第二子以降の保育料は、無条件で無償とすべきだと提案しています。

4. 高校卒業時までの医療費無償化を

未来を担う子どもたちが少しでも不安な時期は、安心して医療を受けられる体制を子育て世帯に提供するため、医療費無償化の対象を高校卒業まで無条件で提供すべきと提案しています。

5. 児童手当の所得制限の撤廃を

施策として出生数を増やしたいのであれば、どの世帯の子どもにも児童手当を支給して、広く子育てを応援することこそ必要なのはです。

児童手当は国の制度のため、一義的には国の責任ですが、川口市が率先して独自にでも所得制限の廃止に取り組むことを提案しています。

コラム

～子育て支援は全世代のため～

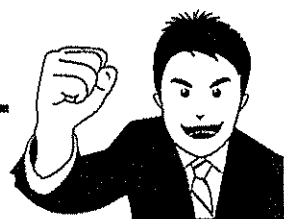
なぜ子育て支援にこだわるのか？

それは、子育てしやすくなり出生数が増えれば、より深刻化する高齢者の年金・介護・医療などの問題も改善できるからです。現に、年金や医療を支えている中心は現役世代です。

少子化は現役世代が減ることになり、将来の年金や医療にも打撃となります。

ですから、年配者の皆さんにも子育て支援策にご理解をいただきたいのです。

社会に子どもが増えて悪いことはありません。社会を活性化させて、力強く動かすことができるのも未来を担う子どもたちです。わたし木岡は、子育て支援にこだわり続けます。



川口市の財政状況について知ってください。

川口市の財政状況は、決して裕福とは言えませんが、市民サービスを十二分に向上させることができるだけの余力はあります。その余力を、どの分野に優先的に配分するかが市政に問われています。

事業の優先順位と内容を見直せば、子育て支援策や高齢者支援策の充実を図る予算は確保できます！

現市長は、川口駅への中距離電車の停車であったり、時代に対応していない街路整備事業であったり、代替策が考えられる市立美術館構想など、旧来型の箱モノ行政と言える施策に優先的に予算配分しています。

わたし木岡は、こうした時代錯誤の行政は転換し、子育てや高齢者の暮らしやすい街づくりに優先的に予算配分すべきだと考えております。

事業計画を見直せば、 「子育て・高齢者支援」の財源は作れます！

❗ 木岡の提案その1 《川口駅への中距離電車の停車にかかわる川口市の費用負担について》

● 線路もホームも川口市が全額負担 300 億円～400 億円 ●

現市長は、川口駅に中距離電車を止めようとしておりますが、わたし木岡の質問で、新たな線路やホームの建設費用を全額川口市が負担することが明らかになりました。川口駅は、川口市の街の顔ともなり得る場所ですから「行政財産を1円も出すべきではない」とは思いませんが、鉄道事業者が営業活動をする線路やホームを、全額、川口市民の税金で建設する必要があるのでしょうか。その費用も300億円とも400億円とも言われています。川口市の一般会計予算は年間約2100億円。400億円はその2割に相当し、一自治体が負担するには大きすぎます。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

❗ 木岡の提案その2 《街路整備事業の見直し》

● 時代のニーズに合わない街路整備事業に 300 億円以上の税金 ●

川口駅を中心とした道路を整備する街路整備事業という事業があります。私が生まれる前の60年以上も前に計画された事業ですが、時代のニーズや車の所有形態までもが変化している現在においてもなお、長期間未整備となっている事業です。にもかかわらず毎年数億円～十数億円の税金が投じられております。さらに、完成までには300億円以上の税金が必要と言われているのです。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

❗ 木岡の提案その3 《市立美術館構想について》

● 建設費だけでも 30 億円!? ●

市立美術館構想は、建設地が決まらず現在迷走しておりますが、建設基本計画で示された必要面積を建築しようとするれば、最低でも20億円、美術館のような特殊建築物となれば30億円を超えると指摘されています。

さらに美術館は建設して終わりとはなりません。維持・管理に多額の費用がかかることは全国の美術館の例から明らかです。優先して税金を投入すべき施策とは思えません。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

■ 市政・県政の気になる動き

《埼玉高速鉄道の岩槻延伸計画について》

開業当初から運賃の高さが指摘されてきた埼玉高速鉄道ですが、多くの沿線住民や利用者の方の声を受けて、川口市とさいたま市、埼玉県が債務免除等も行い、単年度黒字化の実現を経て、通学定期券の値下げ等を実現してきました。

わたし木岡も、川口市北東部の発展には、埼玉高速鉄道の活用が欠かせないとの視点から、運賃や定期券の値下げについて、提案を繰り返してきました。

しかし、ここにきて、気になる動きがあります。埼玉高速鉄道を浦和美園より北側の岩槻駅まで延伸する計画についてです。現在、さいたま市が引っ張る形で議論が始まっておりますが、川口市民からするとデメリットしかないと感じております。

無理に岩槻への延伸を進めれば、定期券や普通運賃の値下げが遠のくことになりかねません。

◆木岡の考え◆

首都圏の人口集積地の路線でも減便などが迫られる中で、埼玉高速鉄道を人口減少地域である岩槻まで延伸するメリットは見出せません。**延伸に反対していきます。**

また、延伸協議の際には、川口市民や既設区間利用者にとって、不利益が生じないように、市としての意向を伝えるよう市議会で求めました。

◆調べてみると・・・

- 岩槻区の将来人口予測は、今後10年間で約9,000人減
- JR東日本は、輸送収入がコロナ前に回復することは難しいと見込み、首都圏各線の減便や鉄道事業の職員を削減
- 東京メトロは、利用者の回復が見込めないことなどを理由に、8月末から主要4路線の運行本数を平均7.8%削減

【要望活動中!】

《武蔵野線の東川口駅・東浦和駅・南浦和駅のホームドア&暴風雨壁の早期設置を》

武蔵野線の東川口駅、東浦和駅、南浦和駅には、ホームドアの設置がされていません。

ご利用者の安全性のためにも一日も早い設置を求めています。JR 東日本は、2031年度末までの整備予定との回答にとどまっております。

10年近く先では遅すぎると思います。こうした市民の安全向上に必要なホームドアの設置こそ、市が補助金を出してでも優先的に取り組むべき施策だと引き続き提案していきます。

また、防風壁の無い東川口駅のホームは、風雨が激しい日は、電車が来るまでホームに上がることをためらうほどひどい状況です。

東川口駅への一日も早い防風壁の設置についても求めています。

《夜間の学校施設の利用時におけるエアコンの使用について》

現在、小学校・中学校などの体育館を地域で活動されている団体に貸し出しておりますが、その際に、エアコンがあるのに『夜間体育館利用団体』には使用が禁止されている実態があります。

今年の夏も本当に暑く、夜になっても25度を下回らない熱帯夜が多くありました。運動をされる市民の健康を考えても設置されているエアコンを使用するなという合理的理由は全くありません。利用規定を整備して使用できるように提案しております。

◆離党について

わたし木岡は、2017年に「草の根からの民主主義」を掲げて結党した立憲民主党に、より良い社会を実現するチャンスだと思い入党しました。しかしながら、最近の政党の紆余曲折から、私の政治信条とのズレが生じたため、立憲民主党を離党いたしました。立憲民主党だからと応援いただいた皆様、ご期待に添えず大変申し訳ありませんでした。

政務活動報告書（個表）

管理番号		11-3	作成 11月30日
会派(議員)名		立憲新風会 木岡 崇	
実施年月日		2022年11月24日	
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費	
	内 容	市政レポート41号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として 市民に市政報告するためのレポート配送費用 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること	
	金 額	234,461円 (消費税込)	
支出の内容	内 訳	市政レポート41号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として DM費用 2,153通×@76円=163,628円 DM封入封緘作業費・資材費 2,153通×@23円=49,519円 163,628円+49,519円=213,147円(税抜) 213,147円×1.1=234,461円(税込) ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること	
	備 考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号
※

11-3

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 書

木岡 崇 御中

¥234,461※

但し 市政レポート41号 DM発送費 2,153件 代金として
2022 年 11 月 24 日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥21,314

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシ



024-934-2489/024-934-2493

請求書

11-3

No01001

2022年 11月 10日

木岡 崇 御中

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ

024-934-2489/024-934-2493

下記の通り御請求致します。

銀行/支店 大東銀行 朝日支店

口座番号

口座名義 有限会社プリントニシダ

合計金額 ￥234,461- (消費税込)

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポート41号 DM発送費	2,153	件	76	163,628	立替払い
DM封入封緘・資材費	2,153	件	23	49,519	
小計				213,147	
消費税(10%)				21,314	
合計				234,461	

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート

発行責任者 木岡たかし
[連絡先]

TEL

税金の使い道 徹底的に監視します！

子育てにお金のかからない街にします！

高齢者が安心して生活できる街を実現します！

【いま政治に求められること!】

いま政治に求められていることは、予算配分の優先順位を間違えない事であると思います。

地方自治体では予算を無尽蔵に捻出することはできませんから、今ある予算の中で、どの施策に優先的に税金を投入することが市民にとって最善なのかを、しっかりと判断することが必要です。

■ 2022 年 9 月市議会定例会 一般質問

！ 子育てにかかわる木岡の提案

1. 小中学校の給食費無償化を

いまの急激な物価高の中で、給食費（子ども2人なら年間9万円程度）が無償化されれば、子育て世帯の家計が助かるだけでなく、無償化された分の多くが消費に回り、地域経済の活性化にもつながります。

(2Pにつづく)

目次

- 2022 年 9 月市議会定例会一般質問 P1-P2
- コラム ～子育て支援は全世代のため～ P2
- 川口市の財政状況について知ってください。 P3
- 市政・県政の気になる動き P4
- 要望活動中! 他 P4

木岡たかし [profile]

木岡崇。

木岡たかし 検索



2. 小中学校の「教材費」無償化を

小中学校において、保護者から徴収している年間数万円にもなる「教材費」を無償とすべきです。

学校は、教材費で各種テスト、色画用紙、ファイル、各種ドリル、資料集、コピー用などを購入していますが、これらはどれも授業に必要不可欠な教材ばかりです。

義務教育課程で、どの子にも経済的事情に左右されることなく教育を提供するのであれば、『義務教育は無償』の観点から、これらの費用は行政が負担すべきだと提案しています。

3. 第二子以降の保育料無償化を

子育て世帯にとって、高い保育料は非常に深刻な問題です。最大で月額7万円もする保育料の負担軽減をすべきだと思います。深刻な少子化に歯止めを少しでもかけるためにも、第二子以降の保育料は、無条件で無償とすべきだと提案しています。

4. 高校卒業時までの医療費無償化を

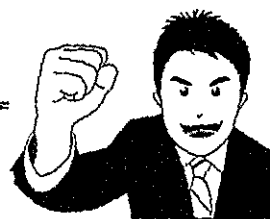
未来を担う子どもたちが少しでも不安な時期は、安心して医療を受けられる体制を子育て世帯に提供するため、医療費無償化の対象を高校卒業まで無条件で提供すべきと提案しています。

5. 児童手当の所得制限の撤廃を

施策として出生数を増やしたいのであれば、どの世帯の子どもにも児童手当を支給して、広く子育てを応援することこそ必要なのはです。

児童手当は国の制度のため、一義的には国の責任ではありますが、川口市が率先して独自にでも所得制限の廃止に取り組むことを提案しています。

コラム



～子育て支援は全世代のため～

なぜ子育て支援にこだわるのか？

それは、子育てしやすくなり出生数が増えれば、より深刻化する高齢者の年金・介護・医療などの問題も改善できるからです。現に、年金や医療を支えている中心は現役世代です。

少子化は現役世代が減ることになり、将来の年金や医療にも打撃となります。

ですから、年配者の皆さんにも子育て支援策にご理解をいただきたいのです。

社会に子どもが増えて悪いことはありません。社会を活性化させて、力強く動かすことができるのも未来を担う子どもたちです。わたし木岡は、子育て支援にこだわり続けます。

■ 川口市の財政状況について知ってください。

川口市の財政状況は、決して裕福とは言えませんが、市民サービスを十二分に向上させることができるだけの余力はあります。その余力を、どの分野に優先的に配分するかが市政に問われています。

事業の優先順位と内容を見直せば、子育て支援策や高齢者支援策の充実を図る予算は確保できます！

現市長は、川口駅への中距離電車の停車であったり、時代に対応していない街路整備事業であったり、代替策が考えられる市立美術館構想など、旧来型の箱モノ行政と言える施策に優先的に予算配分しています。

わたし木岡は、こうした時代錯誤の行政は転換し、子育てや高齢者の暮らしやすい街づくりに優先的に予算配分すべきだと考えております。

事業計画を見直せば、 「子育て・高齢者支援」の財源は作れます！

● 木岡の提案その1 《川口駅への中距離電車の停車にかかわる川口市の費用負担について》

● 線路もホームも川口市が全額負担 300 億円～ 400 億円 ●

現市長は、川口駅に中距離電車を止めようとしておりますが、わたし木岡の質問で、新たな線路やホームの建設費用を全額川口市が負担することが明らかになりました。川口駅は、川口市の街の顔ともなり得る場所ですから「行政財産を1円も出すべきではない」とは思いませんが、鉄道事業者が営業活動をする線路やホームを、全額、川口市民の税金で建設する必要があるのでしょうか。その費用も 300 億円とも 400 億円とも言われています。川口市の一般会計予算は年間約 2100 億円。400 億円はその 2 割に相当し、一自治体が負担するには大きすぎます。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

● 木岡の提案その2 《街路整備事業の見直し》

● 時代のニーズに合わない街路整備事業に 300 億円以上の税金 ●

川口駅を中心とした道路を整備する街路整備事業という事業があります。私が生まれる前の 60 年以上も前に計画された事業ですが、時代のニーズや車の所有形態までもが変化している現在においてもなお、長期間未整備となっている事業です。にもかかわらず毎年数億円～十数億円の税金が投じられております。さらに、完成までには 300 億円以上の税金が必要と言われているのです。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

● 木岡の提案その3 《市立美術館構想について》

● 建設費だけでも 30 億円!? ●

市立美術館構想は、建設地が決まらず現在迷走しておりますが、建設基本計画で示された必要面積を建築しようとするれば、最低でも 20 億円、美術館のような特殊建築物となれば 30 億円を超えると指摘されています。

さらに美術館は建設して終わりとはなりません。維持・管理に多額の費用がかかることは全国の美術館の例から明らかです。優先して税金を投入すべき施策とは思えません。この事業の在り方を見直せば、財源は作れます！

■ 市政・県政の気になる動き

《埼玉高速鉄道の岩槻延伸計画について》

開業当初から運賃の高さが指摘されてきた埼玉高速鉄道ですが、多くの沿線住民や利用者の方の声を受けて、川口市とさいたま市、埼玉県が債務免除等も行い、単年度黒字化の実現を経て、通学定期券の値下げ等を実現してきました。

わたし木岡も、川口市北東部の発展には、埼玉高速鉄道の活用が欠かせないとの視点から、運賃や定期券の値下げについて、提案を繰り返してきました。

しかし、ここにきて、気になる動きがあります。埼玉高速鉄道を浦和美園より北側の岩槻駅まで延伸する計画についてです。現在、さいたま市が引っ張る形で議論が始まっておりますが、川口市民からするとデメリットしかないと感じております。

無理に岩槻への延伸を進めれば、定期券や普通運賃の値下げが遠のくことになりかねません。

◆木岡の考え◆

首都圏の人口集積地の路線でも減便などが迫られる中で、埼玉高速鉄道を人口減少地域である岩槻まで延伸するメリットは見出せません。**延伸に反対していきます。**

また、延伸協議の際には、川口市民や既設区間利用者にとって、不利益が生じないように、市としての意向を伝えるよう市議会で求めました。

◆調べてみると・・・

- 岩槻区の将来人口予測は、今後10年間で約9,000人減
- JR東日本は、輸送収入がコロナ前に回復することは難しいと見込み、首都圏各線の減便や鉄道事業の職員を削減
- 東京メトロは、利用者の回復が見込めないことなどを理由に、8月末から主要4路線の運行本数を平均7.8%削減

【要望活動中!】

《武蔵野線の東川口駅・東浦和駅・南浦和駅のホームドア&暴風雨壁の早期設置を》

武蔵野線の東川口駅、東浦和駅、南浦和駅には、ホームドアの設置がされていません。

ご利用者の安全性のためにも一日も早い設置を求めています。JR 東日本は、2031年度末までの整備予定との回答にとどまっております。

10年近く先では遅すぎると思います。こうした市民の安全向上に必要なホームドアの設置こそ、市が補助金を出してでも優先的に取り組むべき施策だと引き続き提案していきます。

また、防風壁の無い東川口駅のホームは、風雨が激しい日は、電車が来るまでホームに上がることをためらうほどひどい状況です。

東川口駅への一日も早い防風壁の設置についても求めています。

《夜間の学校施設の利用時におけるエアコンの使用について》

現在、小学校・中学校などの体育館を地域で活動されている団体に貸し出しておりますが、その際に、エアコンがあるのに『夜間体育館利用団体』には使用が禁止されている実態があります。

今年の夏も本当に暑く、夜になっても25度を下回らない熱帯夜が多くありました。運動をされる市民の健康を考えると設置されているエアコンを使用するなという合理的理由は全くありません。利用規定を整備して使用できるように提案しております。

◆離党について

わたし木岡は、2017年に「草の根からの民主主義」を掲げて結党した立憲民主党に、より良い社会を実現するチャンスだと思い入党しました。しかしながら、最近の政党の紆余曲折から、私の政治信条とのズレが生じたため、立憲民主党を離党いたしました。立憲民主党だからと応援いただいた皆様、ご期待に添えず大変申し訳ありませんでした。

政務活動報告書（個表）

管理番号	(2-1)	作成	12月31日
会派(議員)名	立憲新風会 木岡 崇		
実施年月日	2022年12月28日		
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費	
	内 容	市政レポート42号の製作・印刷費として 市民に市政報告をするためのレポート製作・印刷費 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること	
支出の 内容	金 額	598,400円 (消費税込)	
	内 訳	市政レポート42号(A4:6ページ)の製作・印刷費として 1枚単価:10.2円×64,000枚=652,800円(税抜) 652,800円×1.1=718,080円(税込) ※市政レポート42号の内、市政報告にかかわる5/6が政務活動費の対象となります。 718,080円×5/6=598,400円(税込) 領収書別添 ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること	
備 考			

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	12-1
-----------	------

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 書

木岡 崇 様

¥718,080

但し 市政レポート42号印刷費 (64,000枚@10.2) 代金として
2022 年 12 月 28 日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥65,280-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-1
有限会社プリントニシ



024-934-2489/024-934-2493

請求書 12-1

No01023

2022年 12月 24日

木岡 崇 様

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ

024-934-2489/024-934-2493

下記の通り御請求致します。

銀行/支店 大東銀行 朝日支店

口座番号

口座名義 有限会社プリントニシダ

合計金額 ￥718,080- (消費税込)

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポート42号 印刷費	64,000	部	10.2	652,800	制作費込
小計				652,800	
消費税(10%)				65,280	
合計				718,080	
備考: 折りパンフレット A4仕上げ 巻き三つ折り 6P コート90K					

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.42 [2022.12]

◆税金の使い道 徹底的に監視します！

◆子育てにお金のかからない街にします！

◆高齢者が安心して生活できる街を実現します！



【私の選択 — れいわ新選組について —】

日々を普通に生きる私たち市民にとって必要な政党はどこか。と考え、れいわ新選組の一員として活動することを決断しました。

これまで川口市議会議員として15年余、わたし木岡は【社会の不正に沈黙しない】この思いをもって活動してきたと自負しております。至らぬところも多々ありますが、多勢に流されず同調圧力に屈せず、自分の意見を発信し続ける「モノ言う議員」であり続けようと取り組んできました。

残念ながら、政治の世界とは、長いものに巻かれ、権力者に忖度した方が楽ができる世界です。

現に森友学園、加計学園、桜を見る会などの事件では、権力者本人やそのお友だち、利害関係者は得をする一方で、国民は置いてきぼりにされたと感じております。さらに権力者とその取り巻きは、法に触れても『記憶が無ければ』捕まらないという現実を見せつけられました。

このように、いまの日本社会は、強い者はより強く、富める者はより豊かになり、その他大勢は苦しい生活を迫られる、そんな社会になってしまったと考えております。

社会全体も、ともすれば「自分だけ良ければ」「今だけ良ければ」といった風潮を感じます。【他者の痛みを感じ、他者に思いを寄せる】こうしたことがしにくくなっている世の中で、無関心でいてはいけない、そうした思いで日々活動していきたいと考えております。

『愛の反対は憎しみではなく、無関心だ』との言葉があります。お互いがお互いに関心を寄せあい、多様性と寛容性のある社会を目指します。

政党を移ることについてのご批判は当然だと思います。そうしたご批判も真摯に受け止めたいと思います。ただし、私自身の政治信条や信念を曲げたことはない点をご理解いただけると幸いです。

どうか引き続きのご意見、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

木岡たかし [profile]

目次

- P2 ◆給与も年金も減る中で、急激な物価高！いま必要なことは、
◆(木岡の提案その1)介護保険料の引き下げを
- P3 ◆(木岡の提案その2)国民健康保険税の軽減策の拡充を
- P4 ◆(木岡の提案その3)児童手当の倍増を
◆子育て・教育・高齢者支援を優先するために、ハコモノ費の廃止・見直しで財源を作ります！
- P5 ◆芝地区の「南浦和前川」の進捗状況について

公式ホームページ

木岡 たかし



12-1 給与も年金も減る中で、急激な物価高！ いま必要なことは・・・。

給与や年金は増えないどころか減っているのに、急激な物価高によって日々の暮らしは大変になる一方だとの声をよく聞きます。私もよくスーパーに行くのですが、本当に色々な品物が値上がりしていると痛感します。

そんな市民の実態を無視するかのように岸田政権・自民公明の与党内からは、次々と市民負担を増やす方向での検討内容が聞こえてきます。

例えば・・・。

消費税を10%以上に増税

年金の受給開始年齢の引き上げ ⇒ その結果、年金をもらえる時期が遠のく

年金掛け金の納付年齢の引き上げ ⇒ その結果、基礎年金の保険料が約100万円アップ

65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の引き上げ

介護サービス利用時の自己負担（原則1割負担）について、2割負担の対象者を拡大

75歳以上が入る後期高齢者医療制度の保険料の年間上限額の引き上げなど

国の制度自体の根本的な改善が必要ですが、市民に一番近い基礎自治体である川口市政においてもやるべきことはあります。

例えば、介護保険料や国民健康保険税の負担軽減措置の充実や、返済不要の奨学金制度の充実、児童手当の所得制限の廃止などです。

！ 木岡の提案その1 《介護保険料の引き下げを》

厚生労働省は10月、『一定の所得』がある65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の引き上げを検討する案を正式に公表しました。この案の中にある『一定の所得』が問題で、高所得とは間違ってもいえない普通の高齢者の介護保険料まで引き上げようとしております。

給与も年金も増えない一方で、物価ばかりが上がっている現在、介護保険料の引き上げをすべきではありません。

この案の前提は、国県市の公的負担割合を1%たりとも増やさない前提となっています。そのため、市民負担ばかりを求める結果となっているのです。

例えば川口市においては、現在の介護保険料の設定方法を見直して、介護保険料の引き下げを行うべきです。同時に、国県市の公的負担額を増やすことが必要となります。市議会にてこうした提案をしていきます。

● 川口市の介護保険料の基準額は、埼玉県内の38市中で5番目に高い ●

【2022年度の介護保険料基準額（月額）の高い上位5市】

1. 戸田市・・・6,400円
2. さいたま市・・・6,034円
3. 加須市・・・6,031円
4. 羽生市・・・5,940円

5. 川口市・・・5,907円

※一番安いのは、鶴ヶ島市・・・4,500円

自治体ごとに人口も年齢構成も違うため一概に比較できませんが、川口市には、まだ介護保険料の引き下げ余地があることは事実です。

ちょっと一言

～介護保険料負担が増えれば、
医療費が増える悪循環に～

介護保険料が上がり、介護利用費負担も上がれば、介護の利用控えが起きてしまいます。

介護の利用控えが起これば、健康維持にも影響がでるため、医療費が増えてしまうのです。

この点からも公費負担分を増やして介護保険料を引き下げるメリットがあります。



木岡の提案その2 《国民健康保険税の軽減策の拡充を》

12-1

国民健康保険は、自営業者や学生、無職の方、前期高齢の退職者などが加入する制度で、川口市民の約23%が加入しております。

そもそも会社が保険料の半分を負担している社会保険とは違い、加入者本人が保険税全額を負担する制度が国民健康保険です。さらに、学生や無職の方、前期高齢の退職者など、所得が無かったり、決して高くない方が多く加入する制度ですから、国民健康保険の財政が厳しくなることは当然です。

現に川口市の国民健康保険に加入している世帯の半数は年間の世帯所得が150万円以下です。

急激な物価高の中で、ただでさえ負担の重い国民健康保険税が重くのしかかっていることは、世帯滞納率13.87%という滞納状況などからもわかります。

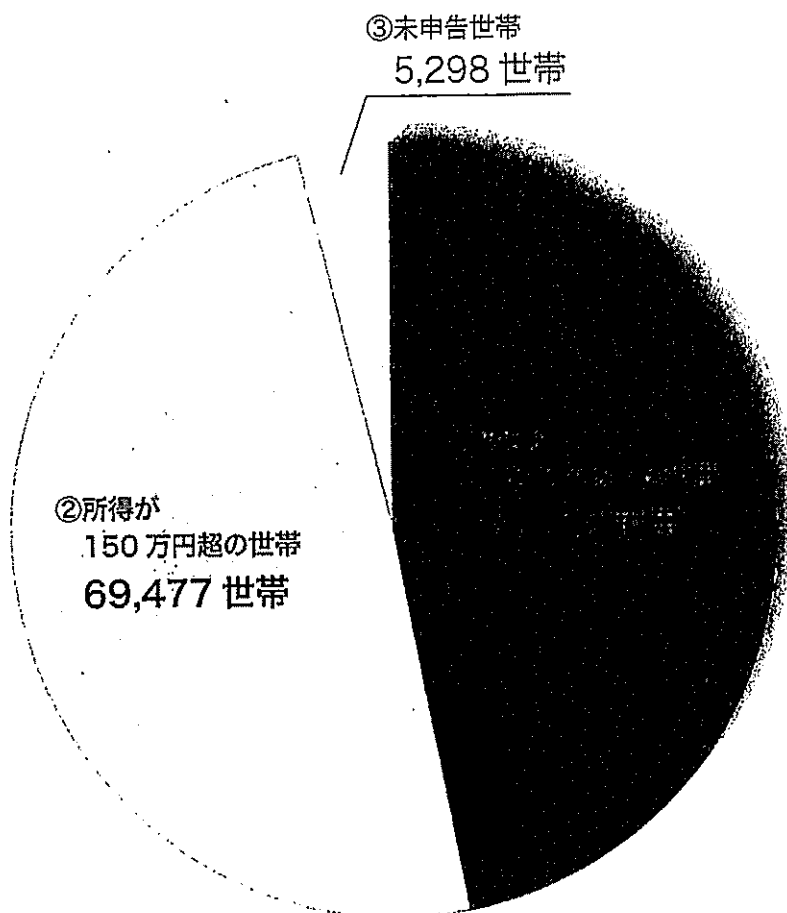
令和3年度 川口市国民健康保険税 所得階層別課税状況



①所得が150万円以下の世帯

②所得が150万円超の世帯

③未申告世帯



今こそ低所得者向けの保険税軽減策の拡充が必要です。

さらに、国県市の公的負担を増やすべきだと市議会にて訴えています。



12-1 ! 木岡の提案その3 《返済不要の奨学金制度の拡充&奨学金チャラの実現を》

～若者を大切にしない社会に未来はない～

資源のない日本において、国民のひとりひとりの力は社会の発展に欠かせません。その基礎となる教育を受けるとき、我が国の学費は非常に高額で、大学や専門学校などへの進学は贅沢品になってしまっています。

本当に学びたい学生が学べなかったり、学費のためにアルバイト漬けになってしまい勉強ができなければ、我が国の国力は落ちるばかりです。

勉強する意欲のある学生が、経済的事情で進学をあきらめないで済む社会にする必要があります。

そのためにも、貸付型ではない、返済不要の給付型奨学金が必要です。

本来、国の制度で実施すべきですが、現政権は後ろ向きですから、市民に身近な川口市で給付型奨学金を受けられる制度の提案を行っています。

同時に、低賃金を若者に押し付ける社会・労働構造の中で、社会に出た瞬間から多額の借金を背負い、大学等を卒業し就職しても、奨学金の返済に四苦八苦する若者が大勢います。

これからの日本を担う若者たちに社会で大いに活躍してもらうためにも、今ある奨学金をチャラ（返済免除）にすることも国に強く求めています。

（事実アメリカでは、バイデン大統領が「学生ローン免除」を政策に掲げ、若者から多くの支持を得ています。）

! 木岡の提案その4 《児童手当の倍増を》

～物価高騰で『家計がとても苦しくなった』74%～

経済的に苦しい子育て家庭を支援しているNPO法人の調査結果が11月末に公表され、大きく報道されました。

物価上昇を実感する項目を尋ねる質問（複数回答）では、食費が99%、光熱費85%、日用品81%と、生活必需品全般に深刻な影響があることがよく分かる結果です。

そして、家計維持のため、「食費を減らしている」と回答したのは84%もあり、子どもの食事状況を尋ねる質問（複数回答）では、「外食を減らした」が67%、「おやつを減らした」が65%、「肉・魚を減らした」63%といずれも6割を超える深刻な状況が浮き彫りになりました。

急激な物価高は、ほぼすべての世帯に影響を与えています。

（こうした時こそ、児童手当を倍額の月額3万円として子育て世帯を支援すべきです。川口市が独自にでも実施することを提案します。同時に、児童手当を筆頭に子育て支援策の所得制限の撤廃も引き続き訴えていきます。）



子育て・教育・高齢者支援を最優先するために、

ハコモノ事業の廃止・見直しで財源を作ります！

最優先事項① 小・中学校の給食費、教材費の無償化

最優先事項② 保育料の引き下げ、第2子以降の保育料無償化

最優先事項③ 介護保険料・国民健康保険税の軽減策の拡充

◎ 財源づくり① 建設費だけで300億円とも言われる川口駅への中距離電車停車計画の廃止・見直しにより財源を作ります。

◎ 財源づくり② 建設費だけで30億円とも言われる市立美術館計画の廃止・見直しにより財源を作ります。

◎ 財源づくり③ 古い計画では60年も前から長期間未整備となっている川口駅周辺の道路建設費（残工事に300億円必要）を見直して、大幅な予算削減をすすめ財源を作ります。

芝地区の南浦和前川線(都市計画道路)の進捗状況について

〈南浦和前川線〉は、前川2丁目から産業道路沿いのファミリーレストラン『フォルクス』とオフィスベンダー川口店のある交差点、芝グランドボール、芝西中とマルエツを通り、その先の小谷場に向かって南浦和駅近くまで伸びる工事中の道路です。

この道路は、完成すれば前川エリアから南浦和駅近くまで抜けるため、芝地区の交通利便性を向上させる大切な道路計画です。しかしながら、事業予算の確保が一番の課題となっており、現時点で事業完了は見通せておりません。



(写真1) 小谷場公園脇にて状況確認している
「れいわ新選組 埼玉県(南2区川口市) 政策委員 ほんだまさき」さんと私(右)

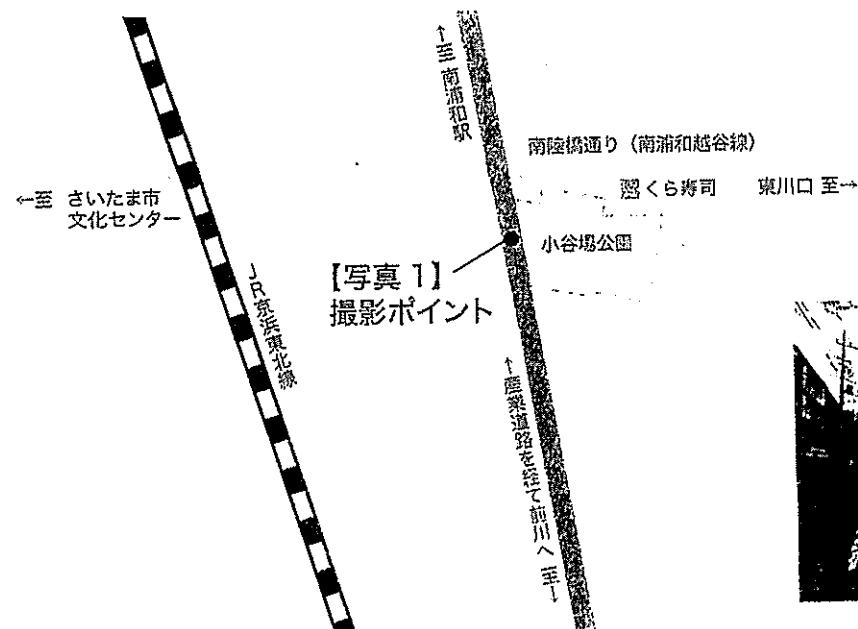
11月下旬に、れいわ新選組の埼玉県政策委員「ほんだ まさき」さんと一緒に現地を歩き状況調査をしてきました。その後、川口市西部区画整理事務所を訪れ、現状を確認した上で事業促進のための予算確保を求めてきました。

工事の現状ですが、必要な用地買収は約95%済みであり、上水道やガスなどのライフラインの整備も、ほぼ完了しております。ただし、予算不足のため雨水処理のための埋設管設置のメドがたっていないため、道路の使用開始までの年限はハッキリせず、まだまだ時間がかかるとの回答でした。

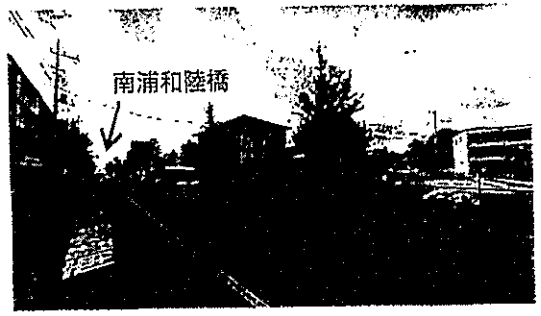
川口駅周辺にばかり偏重した大型開発(例:①川口駅への中距離電車停車に300億円、②川口駅周辺に集中する道路計画に300億円)を抜本的に改めて、市内の均衡ある発展を見据え、生活道路の維持・管理とともに、地域住民の交通利便性を向上させる幹線道路にこそ、予算を使うべきだと考えます。

当該地区の区画整理の大きな要の一つである〈南浦和前川線〉の開通のために必要不可欠なことは予算です。国からの補助金確保と同時に川口市の予算増額を求めています。

南浦和前川線(都市計画道路)の進捗状況



■南陸橋通りから望む工事現場



南浦和陸橋

とうとう「戸塚差間線」の開通メドが立ってきました！

～順調にいけば2023年度中に開通します～

長年、地域の方から多くの要望が寄せられていた〈戸塚差間線〉の開通メドが立ってきました。

これまで川口市域の工事は完了しているのですが、さいたま市域の工事区間の完了メドが立っていませんでした。

わたし木岡は、これまで何度もさいたま市土地区画整理協会に足を運び、川口市の現状を伝えて1日も早い工事完了と開通を要望してきました。

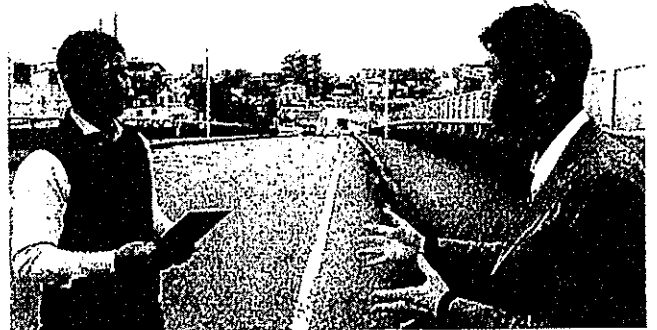
11月には、れいわ新選組の埼玉県（南2区川口市）政策委員の「ほんだ まさき」さんと一緒に現場を歩き状況調査をしてきました。

その後、さいたま市土地区画整理協会に確認したところ、来年度（2023年度）予算において、当該箇所の道路舗装までの工事費用を予算要求しており、2023年のさいたま市議会2月定例会で可決されれば、予算が付くとの事でした。

予算が付けば、2023年度中に舗装工事まで完了する予定との事が明らかになりました。

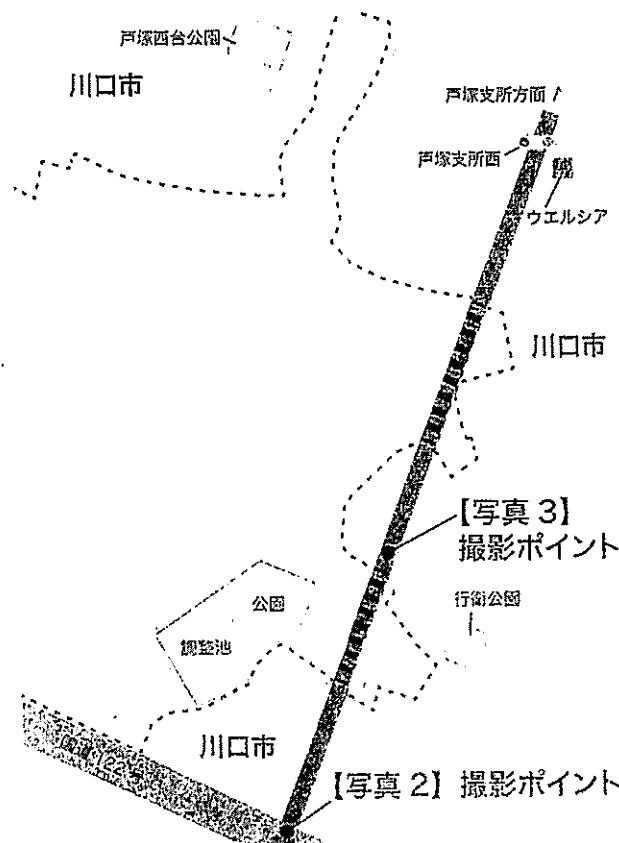
工事が完了すれば、すぐに利用開始できるそうです。

引き続き地域のための働きかけを行っていきます。



【写真2】川口市側（工事完了）より状況確認している「れいわ新選組 埼玉県（南2区川口市）政策委員 ほんだ まさき」さんと私（右）

戸塚差間線 工事区間位置図



■■■■
2023年度工事完了予定区間
（さいたま市側）

【写真3】戸塚差間線側（工事完了）部分とさいたま市側（工事予定）



政務活動報告書（個表）

管理番号	12-2	作成 12月31日
会派(議員)名	立憲新風会 木岡 崇	
実施年月日	2022年12月28日	
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費
	内 容	市政レポート42号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として 市民に市政報告するためのレポート配送費用 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
	金 額	168,860円 (消費税込)
支出の内容	内 訳	領収書別添 市政レポート42号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として DM費用 2,142通×@76円＝162,792円 DM封入封緘作業費・資材費 2,142通×@10円＝21,420円 162,792円＋21,420円＝184,212円(税抜) 184,212円×1.1＝202,633円(税込) ※市政レポート42号の内、市政報告にかかわる5/6が政務活動費の対象となります。 202,633円×5/6＝168,860円(税込) ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
	備 考	

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号
※

12-2

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 書

木岡 崇 様

¥202,633※

但し、市政レポート42号DM発送(2142通 @86) 代金として
2022年12月28日上記の金額正に領収致しました。

内訳

金額

消費税

¥18,421-

〒963-8025

福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシ



024-934-2489/024-934-2493

請求書

No01024

12-2 2022年 12月 24日

木岡 崇 様

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ

024-934-2489/024-934-2493

下記の通り御請求致します。

銀行/支店 大東銀行 朝日支店

口座番号 
口座名義 有限会社プリントニシダ**合計金額 ￥202,633- (消費税込)**

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポート42号 DM発送費	2,142	通	76	162,792	立替払い
資材など諸経費	2,142	通	10	21,420	
小計				184,212	
消費税(10%)				18,421	
合計				202,633	

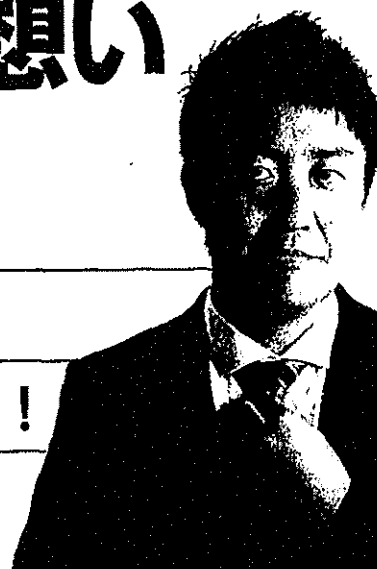
木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.42 [2022.12]

◆ 税金の使い道 徹底的に監視します！

◆ 子育てにお金のかからない街にします！

◆ 高齢者が安心して生活できる街を実現します！



【私の選択 — れいわ新選組について —】

日々を普通に生きる私たち市民にとって必要な政党はどこか。と考え、れいわ新選組の一員として活動することを決断しました。

これまで川口市議会議員として15年余、わたし木岡は【社会の不正に沈黙しない】この思いをもって活動してきたと自負しております。至らぬところも多々ありますが、多勢に流されず同調圧力に屈せず、自分の意見を発信し続ける「モノ言う議員」であり続けようと取り組んできました。

残念ながら、政治の世界とは、長いものに巻かれ、権力者に忖度した方が楽ができる世界です。

現に森友学園、加計学園、桜を見る会などの事件では、権力者本人やそのお友だち、利害関係者は得をする一方で、国民は置いてきぼりにされたと感じております。さらに権力者とその取り巻きは、法に触れても『記憶が無ければ』捕まらないという現実を見せつけられました。

このように、いまの日本社会は、強い者はより強く、富める者はより豊かになり、その他大勢は苦しい生活を迫られる、そんな社会になってしまったと考えております。

社会全体も、ともすれば「自分だけ良ければ」「今だけ良ければ」といった風潮を感じます。【他者の痛みを感じ、他者に思いを寄せる】こうしたことがしにくくなっている世の中で、無関心でいてはいけない、そうした思いで日々活動していきたいと考えております。

『愛の反対は憎しみではなく、無関心だ』との言葉があります。お互いがお互いに関心を寄せあい、多様性と寛容性のある社会を目指します。

政党を移ることについてのご批判は当然だと思います。そうしたご批判も真摯に受け止めたいと思います。ただし、私自身の政治信条や信念を曲げたことはない点をご理解いただけると幸いです。

どうか引き続きのご意見、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

木岡たかし [profile]

目次

P2 ◆給与も年金も減る中で、急激な物価高！いま必要なことは・・・

◆(木岡の提案その1)介護保険料の引き下げを

P3 ◆(木岡の提案その2)国民健康保険税の軽減策の拡充を

P4 ◆(木岡の提案その3)児童手当の増額を

◆子育て・教育・高齢者支援を最優先するために、ハコモノ事業の廃止・見直しで財源を作ります！

P5 ◆芝地区の「南浦和前川線」の進捗状況について

P6 ◆とうとう「戸塚若原線」の開通が実現しました！

公式ホームページ

木岡 たかし



12-2 給与も年金も減る中で、急激な物価高！ いま必要なことは・・・。

給与や年金は増えないどころか減っているのに、急激な物価高によって日々の暮らしは大変になる一方だとの声をよく聞きます。私もよくスーパーに行くのですが、本当に色々な品物が値上がりしていると痛感します。

そんな市民の実態を無視するかのように岸田政権・自民公明の与党内からは、次々と市民負担を増やす方向での検討内容が聞こえてきます。

例えば・・・。

- ◇ 消費税を10%以上に増税
- ◇ 年金の受給開始年齢の引き上げ ⇒ その結果、年金をもらえる時期が遠のく
- ◇ 年金掛け金の納付年齢の引き上げ ⇒ その結果、基礎年金の保険料が約100万円アップ
- ◇ 65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の引き上げ
- ◇ 介護サービス利用時の自己負担（原則1割負担）について、2割負担の対象者を拡大
- ◇ 75歳以上が入る後期高齢者医療制度の保険料の年間上限額の引き上げなど

国の制度自体の根本的な改善が必要ですが、市民に一番近い基礎自治体である川口市政においてもやるべきことはあります。

例えば、介護保険料や国民健康保険税の負担軽減措置の充実や、返済不要の奨学金制度の充実、児童手当の所得制限の廃止などです。

！ 木岡の提案その1 《介護保険料の引き下げを》

厚生労働省は10月、『一定の所得』がある65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の引き上げを検討する案を正式に公表しました。この案の中にある『一定の所得』が問題で、高所得とは間違ってもいえない普通の高齢者の介護保険料まで引き上げようとしております。

給与も年金も増えない一方で、物価ばかりが上がっている現在、介護保険料の引き上げをすべきではありません。

この案の前提は、国県市の公的負担割合を1%たりとも増やさない前提となっています。そのため、市民負担ばかりを求める結果となっているのです。

例えば川口市においては、現在の介護保険料の設定方法を見直して、介護保険料の引き下げを行うべきです。同時に、国県市の公的負担額を増やすことが必要となります。市議会にてこうした提案をしていきます。

● 川口市の介護保険料の基準額は、埼玉県内の38市中で5番目に高い ●

【2022年度の介護保険料基準額（月額）の高い上位5市】

1. 戸田市 …6,400円
2. さいたま市 …6,034円
3. 加須市 …6,031円
4. 羽生市 …5,940円

5. 川口市 …5,907円

※一番安いのは、鶴ヶ島市…4,500円

自治体ごとに人口も年齢構成も違うため一概に比較できませんが、川口市には、まだ介護保険料の引き下げ余地があることは事実です。

ちょっと一言

～介護保険料負担が増えれば、
医療費が増える悪循環に～

介護保険料が上がれば、介護利用費負担も上がれば、介護の利用控えが起きてしまいます。

介護の利用控えが起きれば、健康維持にも影響がため、医療費が増えてしまうのです。

この点からも公費負担分を増やして介護保険料を引き下げるメリットがあります。



！ 木岡の提案その2 《国民健康保険税の軽減策の拡充を》 12-2

国民健康保険は、自営業者や学生、無職の方、前期高齢の退職者などが加入する制度で、川口市民の約23%が加入しております。

そもそも会社が保険料の半分を負担している社会保険とは違い、加入者本人が保険税全額を負担する制度が国民健康保険です。さらに、学生や無職の方、前期高齢の退職者など、所得が無かったり、決して高くない方が多く加入する制度ですから、国民健康保険の財政が厳しくなることは当然です。

現に川口市の国民健康保険に加入している世帯の半数は年間の世帯所得が150万円以下です。

急激な物価高の中で、ただでさえ負担の重い国民健康保険税が重くのしかかっていることは、世帯滞納率13.87%という滞納状況などからもわかります。

令和3年度 川口市国民健康保険税 所得階層別課税状況

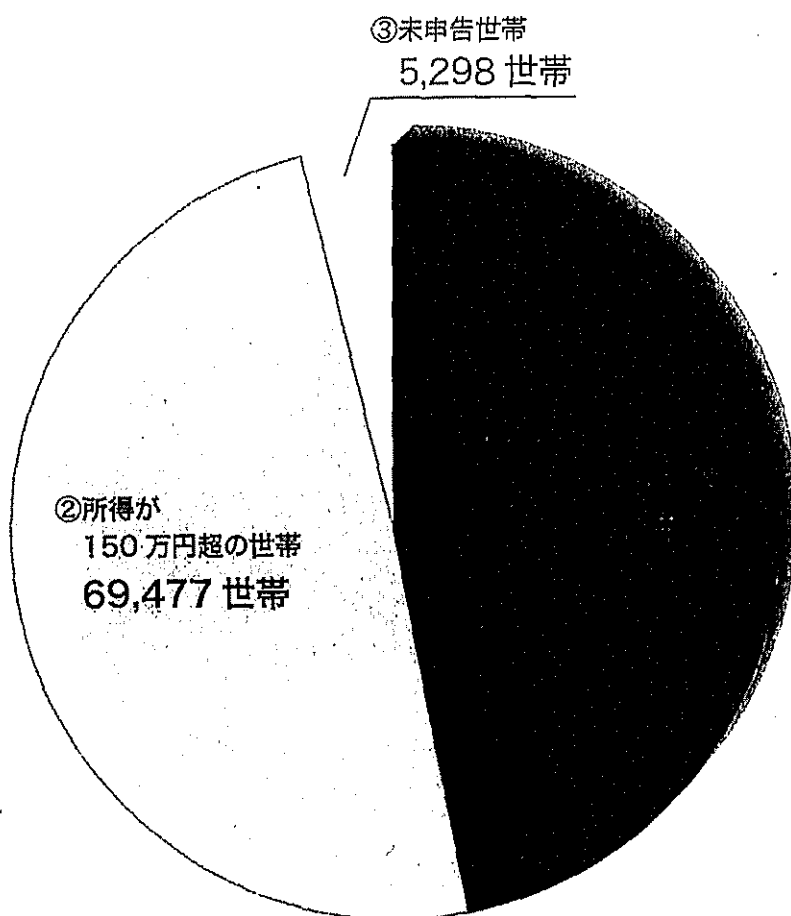


①所得が150万円以下の世帯



②所得が150万円超の世帯

③未申告世帯



今こそ低所得者向けの保険税軽減策の拡充が必要です。

さらに、国県市の公的負担を増やすべきだと市議会にて訴えていきます。



！ 木岡の提案その3 《返済不要の奨学金制度の拡充&奨学金チャラの実現を》

～若者を大切にしない社会に未来はない～

資源のない日本において、国民のひとりひとりの力は社会の発展に欠かせません。その基礎となる教育を受けるとき、我が国の学費は非常に高額で、大学や専門学校などへの進学は贅沢品になってしまっています。

本当に学びたい学生が学べなかったり、学費のためにアルバイト漬けになってしまい勉強ができなければ、我が国の国力は落ちるばかりです。

勉強する意欲のある学生が、経済的事情で進学をあきらめないで済む社会にする必要があります。

そのためにも、貸付型ではない、返済不要の給付型奨学金が必要です。

本来、国の制度で実施すべきですが、現政権は後ろ向きですから、市民に身近な川口市で給付型奨学金を受けられる制度の提案を行っています。

同時に、低賃金を若者に押し付ける社会・労働構造の中で、社会に出た瞬間から多額の借金を背負い、大学等を卒業し就職しても、奨学金の返済に四苦八苦する若者が大勢います。

これからの日本を担う若者たちに社会で大いに活躍してもらうためにも、今ある奨学金をチャラ（返済免除）にすることも国に強く求めています。

事実アメリカでは、バイデン大統領が「学生ローン免除」を政策に掲げ、若者から多くの支持を得ています。

！ 木岡の提案その4 《児童手当の倍増を》

～物価高騰で『家計がとても苦しくなった』74%～

経済的に苦しい子育て家庭を支援しているNPO法人の調査結果が11月末に公表され、大きく報道されました。

物価上昇を実感する項目を尋ねる質問（複数回答）では、食費が99%、光熱費85%、日用品81%と、生活必需品全般に深刻な影響があることがよく分かる結果です。

そして、家計維持のため、「食費を減らしている」と回答したのは84%もあり、子どもの食事状況を尋ねる質問（複数回答）では、「外食を減らした」が67%、「おやつを減らした」が65%、「肉・魚を減らした」63%といずれも6割を超える深刻な状況が浮き彫りになりました。

急激な物価高は、ほぼすべての世帯に影響を与えています。

こうした時こそ、児童手当を倍額の月額3万円として子育て世帯を支援すべきです。川口市が独自にでも実施することを提案します。同時に、児童手当を筆頭に子育て支援策の所得制限の撤廃も引き続き訴えていきます。



子育て・教育・高齢者支援を最優先するために、 ハコモノ事業の廃止・見直しで財源を作ります！

- ◇ 最優先事項① 小・中学校の給食費、教材費の無償化
- ◇ 最優先事項② 保育料の引き下げ、第2子以降の保育料無償化
- ◇ 最優先事項③ 介護保険料・国民健康保険税の軽減策の拡充
- ◆ 財源づくり① 建設費だけで300億円とも言われる川口駅への中距離電車停車計画の廃止・見直しにより財源を作ります。
- ◆ 財源づくり② 建設費だけで30億円とも言われる市立美術館計画の廃止・見直しにより財源を作ります。
- ◆ 財源づくり③ 古い計画では60年も前から長期間未整備となっている川口駅周辺の道路建設費（残工事に300億円必要）を見直して、大幅な予算削減をすすめ財源を作ります。

芝地区の南浦和前川線(都市計画道路)の進捗状況について

〈南浦和前川線〉は、前川2丁目から産業道路沿いのファミリーレストラン『フォルクス』とオフィスベンダー川口店のある交差点、芝グランドボール、芝西中とマルエツを通り、その先の小谷場に向かって南浦和駅近くまで伸びる工事中の道路です。

この道路は、完成すれば前川エリアから南浦和駅近くまで抜けるため、芝地区の交通利便性を向上させる大切な道路計画です。しかしながら、事業予算の確保が一番の課題となっており、現時点で事業完了は見通せておりません。

11月下旬に、れいわ新選組の埼玉県政策委員「ほんだ まさき」と一緒に現地を歩き状況調査をしてきました。その後、川口市西部区画整理事務所を訪れ、現状を確認した上で事業促進のための予算確保を求めてきました。

工事の現状ですが、必要な用地買収は約95%済みであり、上水道やガスなどのライフラインの整備も、ほぼ完了しております。ただし、予算不足のため雨水処理のための埋設管設置のメドがたっていないため、道路の使用開始までの年限はハッキリせず、まだまだ時間がかかるとの回答でした。

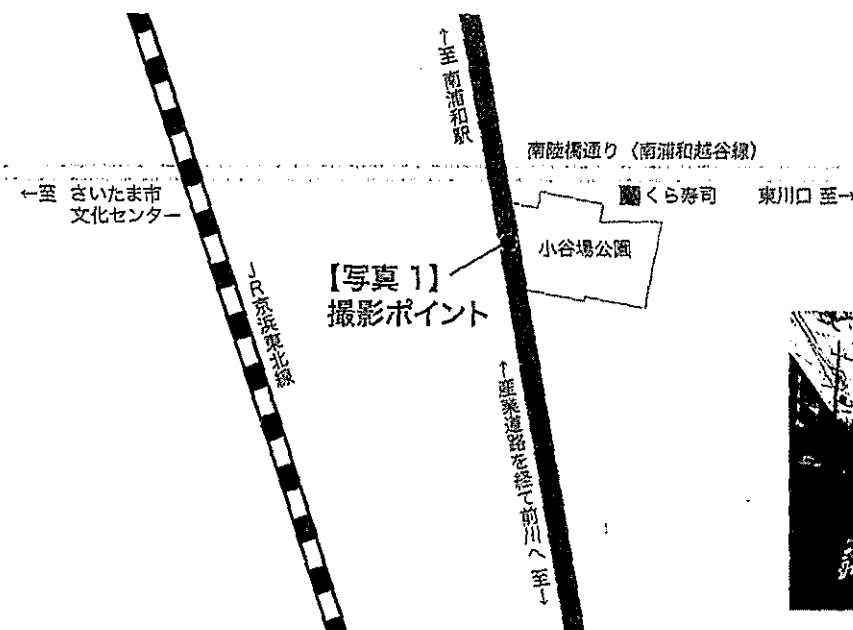
川口駅周辺にばかり偏重した大型開発(例:①川口駅への中距離電車停車に300億円、②川口駅周辺に集中する道路計画に300億円)を抜本的に改めて、市内の均衡ある発展を見据え、生活道路の維持・管理とともに、地域住民の交通利便性を向上させる幹線道路にこそ、予算を使うべきだと考えます。

当該地区の区画整理の大きな要の一つである〈南浦和前川線〉の開通のために必要不可欠なことは予算です。国からの補助金確保と同時に川口市の予算増額を求めています。



【写真1】小谷場公園にて状況確認している
「れいわ新選組 埼玉県(南2区川口市)政策委員 ほんだ まさき」と私(右)

南浦和前川線(都市計画道路)の進捗状況



■南陸橋通りから望む工事現場



■ どうとう「戸塚差間線」の開通メドが立ってきました！ ～順調にいけば2023年度中に開通します～

長年、地域の方から多くの要望が寄せられていた〈戸塚差間線〉の開通メドが立ってきました。

これまで川口市域の工事は完了しているのですが、さいたま市域の工事区間の完了メドが立っていませんでした。

わたし木岡は、これまで何度もさいたま市土地区画整理協会に足を運び、川口市の現状を伝えて1日も早い工事完了と開通を要望してきました。

11月には、れいわ新選組の埼玉県（南2区川口市）政策委員の「ほんだ まさき」と一緒に現地を歩き状況調査をしてきました。

その後、さいたま市土地区画整理協会に確認したところ、来年度（2023年度）予算において、当該箇所の道路舗装までの工事費用を予算要求しており、2023年のさいたま市議会2月定例会で可決されれば、予算が付くとの事でした。

予算が付けば、2023年度中に舗装工事まで完了する予定との事が明らかになりました。

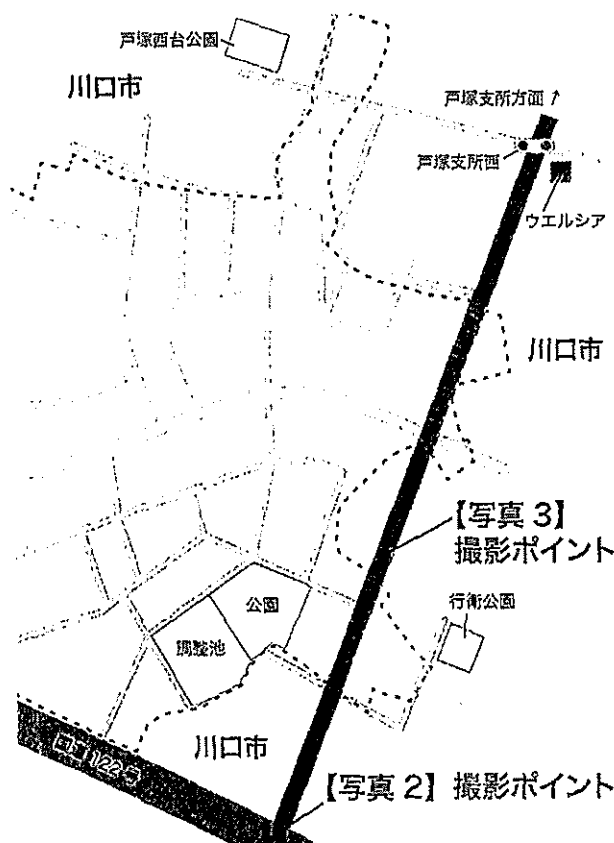
工事が完了すれば、すぐに利用開始できるそうです。

引き続き地域のための働きかけを行っていきます。



【写真2】川口市側（工事完了）より状況確認している
 「れいわ新選組 埼玉県（南2区川口市）政策委員 ほんだ まさき」と私（右）

戸塚差間線 工事区間位置図



2023年度工事完了予定区間 （さいたま市側）

【写真3】戸塚差間線側（工事完了）部分とさいたま市側（工事予定）



政務活動報告書（個表）

管理番号		[-]	作成 1月31日
会派(議員)名		立憲新風会 木岡 崇	
実施年月日		2023年1月5日	
政務活動の 具体的内容	項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費 ⑪事務費	
	内 容	市民への市政報告のための市政レポート42号の配布代金として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること	
	金 額	239,250円 (消費税込)	
支出の内容	内 訳	領収書別添 領収書：市政レポート42号の配布代金 $58,000 \text{ 枚} \times @4.5 \text{ 円} = 261,000 \text{ 円 (税抜)}$ $261,000 \text{ 円} \times 1.1 = 287,100 \text{ 円 (税込)}$ ※市政レポート42号の内、市政報告にかかわる5/6が政務活動費の対象となります。 $287,100 \text{ 円} \times 5/6 = 239,250 \text{ 円}$ ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること	
	備 考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	1-1
-----------	-----

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 証

本園 光かし

様 No. 23010501

★ ￥ 287,100 円 —

但市政レポート42号ホスブック費用として (58,000枚 × 4.5円 = 261,000円)

令和5年 1月 5日 上記正に領収いたしました

(龍振)



内訳	税率	金額(税別税込)
	10%	261,000円
税率		消費税額等
		26,100円
税率		金額(税別税込)
税率		消費税額等

株式会社クローバー

代表取締役 矢崎良介

〒332-0015 埼玉県川口市川口2-15-20

TEL 048-291-8214 FAX 048-291-8217



D211R18

株式会社クローバー
〒332-0015
埼玉県川口市川口2-15-20
TEL:048-291-8214 / FAX:048-291-8217
担当

御請求日 2022年12月29日
御支払日 2023年01月31日

このたびは御依頼いただきまして誠にありがとうございます。
下記のとおり御請求申し上げます。

[illegible]

備考

小計	261,000
消費税(10%)	26,100
合計	¥287,100

お振込み先口座

三井住友銀行 高円寺支店(089)

株式会社クローバー

※お振込み手数料は貴社にて御負担くださいますようお願い申し上げます。

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.42 [2022.12]

◆ 税金の使い道 徹底的に監視します！

◆ 子育てにお金のかからない街にします！

◆ 高齢者が安心して生活できる街を実現します！



【私の選択 — れいわ新選組について —】

日々を普通に生きる私たち市民にとって必要な政党はどこか。と考え、れいわ新選組の一員として活動することを決断しました。

これまで川口市議会議員として15年余、わたし木岡は【社会の不正に沈黙しない】この思いをもって活動してきたと自負しております。至らぬところも多々ありますが、多勢に流されず同調圧力に屈せず、自分の意見を発信し続ける「モノ言う議員」であり続けようと取り組んできました。

残念ながら、政治の世界とは、長いものに巻かれ、権力者に忖度した方が楽ができる世界です。

現に森友学園、加計学園、桜を見る会などの事件では、権力者本人やそのお友だち、利害関係者は得をする一方で、国民は置いてきぼりにされたと感じております。さらに権力者とその取り巻きは、法に触れても『記憶が無ければ』捕まらないという現実を見せつけられました。

このように、いまの日本社会は、強い者はより強く、富める者はより豊かになり、その他大勢は苦しい生活を迫られる、そんな社会になってしまったと考えております。

社会全体も、ともすれば「自分だけ良ければ」「今だけ良ければ」といった風潮を感じます。【他者の痛みを感じ、他者に思いを寄せる】こうしたことがしにくくなっている世の中で、無関心でいてはいけない、そうした思いで日々活動していきたいと考えております。

『愛の反対は憎しみではなく、無関心だ』との言葉があります。お互いがお互いに関心を寄せあい、多様性と寛容性のある社会を目指します。

政党を移ることについてのご批判は当然だと思います。そうしたご批判も真摯に受け止めたいと思います。ただし、私自身の政治信条や信念を曲げたことはない点をご理解いただけると幸いです。

どうか引き続きのご意見、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

木岡たかし [profile]

目次

P2 ◆給与も年金も減る中で「急激な物価高」いま必要なことは・・・

◆(木岡の提案その1)介護保険料の引き下げを

P3 ◆(木岡の提案その2)国民健康保険税の軽減策の拡充を

P4 ◆(木岡の提案その3)児童手当の増額を

◆子育て・教育・高齢者支援を最優先するために、入居モノ事業の廃止・見直しで財源を作ります

P5 ◆芝地区の「南浦和前川線」の進捗状況について

P6 ◆とうとう「戸塚差間線」の開通外が立ってきました！

公式ホームページ

木岡 たかし



給与も年金も減る中で、急激な物価高！ いま必要なことは・・・。

給与や年金は増えないどころか減っているのに、急激な物価高によって日々の暮らしは大変になる一方だとの声をよく聞きます。私もよくスーパーに行くのですが、本当に色々な品物が値上がりしていると痛感します。

そんな市民の実態を無視するかのように岸田政権・自民公明の与党内からは、次々と市民負担を増やす方向での検討内容が聞こえてきます。

例えば・・・。

消費税を10%以上に増税

年金の受給開始年齢の引き上げ ⇒ その結果、年金をもらえる時期が遠のく

年金掛け金の納付年齢の引き上げ ⇒ その結果、基礎年金の保険料が約100万円アップ

65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の引き上げ

介護サービス利用時の自己負担（原則1割負担）について、2割負担の対象者を拡大

75歳以上が入る後期高齢者医療制度の保険料の年間上限額の引き上げなど

国の制度自体の根本的な改善が必要ですが、市民に一番近い基礎自治体である川口市政においてもやるべきことはあります。

例えば、介護保険料や国民健康保険税の負担軽減措置の充実や、返済不要の奨学金制度の充実、児童手当の所得制限の廃止などです。

木岡の提案その1 《介護保険料の引き下げを》

厚生労働省は10月、『一定の所得』がある65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の引き上げを検討する案を正式に公表しました。この案の中にある『一定の所得』が問題で、高所得とは間違ってもいえない普通の高齢者の介護保険料まで引き上げようとしております。

給与も年金も増えない一方で、物価ばかりが上がっている現在、介護保険料の引き上げをすべきではありません。

この案の前提は、国県市の公的負担割合を1%たりとも増やさない前提となっています。そのため、市民負担ばかりを求める結果となっているのです。

例えば川口市においては、現在の介護保険料の設定方法を見直して、介護保険料の引き下げを行うべきです。同時に、国県市の公的負担額を増やすことが必要となります。市議会にてこうした提案をしていきます。

● 川口市の介護保険料の基準額は、埼玉県内の38市中で5番目に高い ●

【2022年度の介護保険料基準額（月額）の高い上位5市】

1. 戸田市・・・6,400円

2. さいたま市・・・6,034円

3. 加須市・・・6,031円

4. 羽生市・・・5,940円

5. 川口市・・・5,907円

※一番安いのは、鶴ヶ島市・・・4,500円

自治体ごとに人口も年齢構成も違うため一概に比較できませんが、川口市には、まだ介護保険料の引き下げ余地があることは事実です。

ちよつと言

～介護保険料負担が増えれば、
医療費が増える悪循環に～

介護保険料が上がり、介護利用費負担も上がれば、介護の利用控えが起きてしまいます。

介護の利用控えが起これば、健康維持にも影響がでるため、医療費が増えてしまうのです。

この点からも公費負担分を増やして介護保険料を引き下げ
るメリットがあります。



❗ 木岡の提案その2 《国民健康保険税の軽減策の拡充を》

国民健康保険は、自営業者や学生、無職の方、前期高齢の退職者などが加入する制度で、川口市民の約23%が加入しております。

そもそも会社が保険料の半分を負担している社会保険とは違い、加入者本人が保険税全額を負担する制度が国民健康保険です。さらに、学生や無職の方、前期高齢の退職者など、所得が無かったり、決して高くない方が多く加入する制度ですから、国民健康保険の財政が厳しくなることは当然です。

現に川口市の国民健康保険に加入している世帯の半数は年間の世帯所得が150万円以下です。急激な物価高の中で、ただでさえ負担の重い国民健康保険税が重くのしかかっていることは、世帯滞納率13.87%という滞納状況などからもわかります。

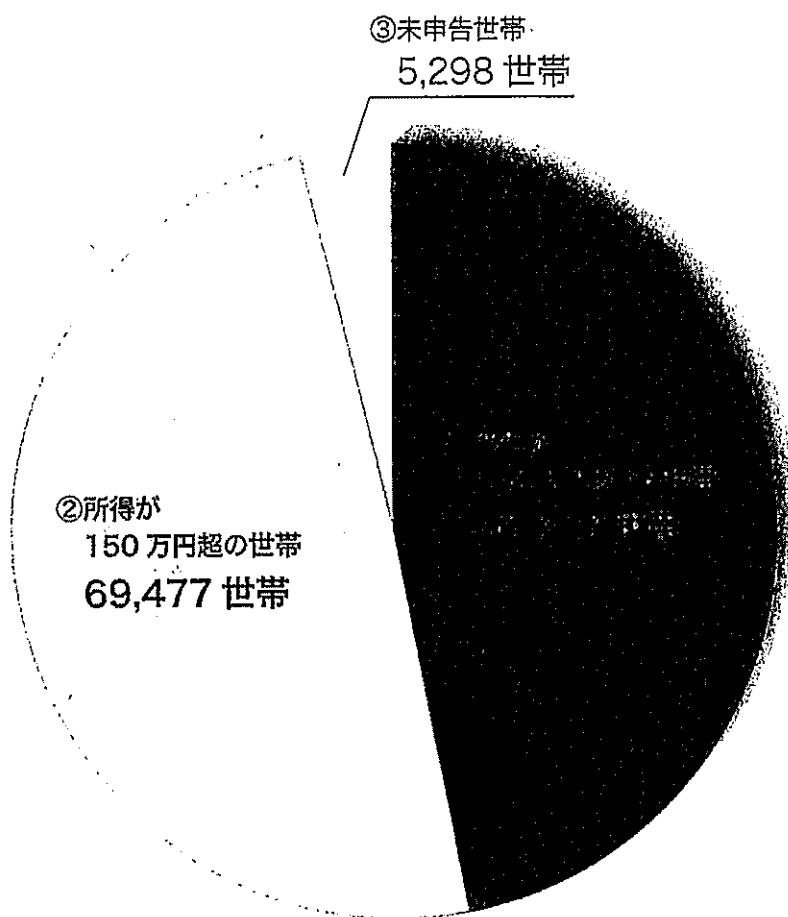
令和3年度 川口市国民健康保険税 所得階層別課税状況



①所得が150万円以下の世帯

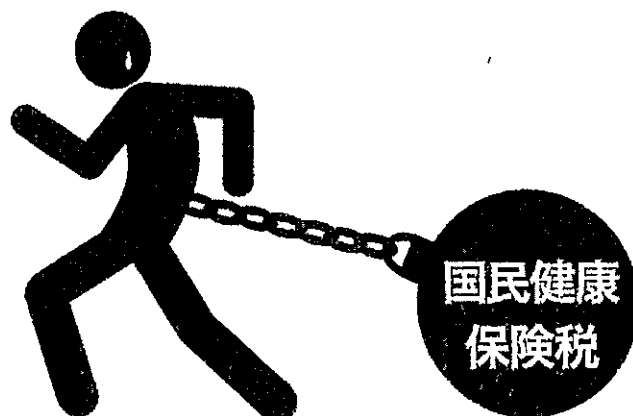
②所得が150万円超の世帯

③未申告世帯



今こそ低所得者向けの保険税軽減策の拡充が必要です。

さらに、国県市の公的負担を増やすべきだと市議会にて訴えていきます。



❗ 木岡の提案その3 《返済不要の奨学金制度の拡充&奨学金チャラの実現を》

～若者を大切にしない社会に未来はない～

資源のない日本において、国民のひとりひとりの力は社会の発展に欠かせません。その基礎となる教育を受けるとき、我が国の学費は非常に高額で、大学や専門学校などへの進学は贅沢品になってしまっています。

本当に学びたい学生が学べなかったり、学費のためにアルバイト漬けになってしまい勉強ができなければ、我が国の国力は落ちるばかりです。

勉強する意欲のある学生が、経済的事情で進学をあきらめないで済む社会にする必要があります。

そのためには、貸付型ではない、返済不要の給付型奨学金が必要です。

本来、国の制度で実施すべきですが、現政権は後ろ向きですから、市民に身近な川口市で給付型奨学金を受けられる制度の提案を行っています。

同時に、低賃金を若者に押し付ける社会・労働構造の中で、社会に出た瞬間から多額の借金を背負い、大学等を卒業し就職しても、奨学金の返済に四苦八苦する若者が大勢います。

これからの日本を担う若者たちに社会で大いに活躍してもらうためにも、今ある奨学金をチャラ（返済免除）にすることも国に強く求めています。

事実アメリカでは、バイデン大統領が「学生ローン免除」を政策に掲げ、若者から多くの支持を得ています。

❗ 木岡の提案その4 《児童手当の倍増を》

～物価高騰で『家計がとても苦しくなった』74%～

経済的に苦しい子育て家庭を支援しているNPO法人の調査結果が、11月末に公表され、大きく報道されました。

物価上昇を実感する項目を尋ねる質問（複数回答）では、食費が99%、光熱費85%、日用品81%と、生活必需品全般に深刻な影響があることがよく分かる結果です。

そして、家計維持のため、「食費を減らしている」と回答したのは84%もあり、子どもの食事状況を尋ねる質問（複数回答）では、「外食を減らした」が67%、「おやつを減らした」が65%、「肉・魚を減らした」63%といずれも6割を超える深刻な状況が浮き彫りになりました。

急激な物価高は、ほぼすべての世帯に影響を与えています。

こうした時こそ、児童手当を倍額の月額3万円として子育て世帯を支援すべきです。川口市が独自にでも実施することを提案します。同時に、児童手当を筆頭に子育て支援策の所得制限の撤廃も引き続き訴えていきます。



子育て・教育・高齢者支援を最優先するために、

ハコモノ事業の廃止・見直しで財源を作ります！

最優先事項① 小・中学校の給食費、教材費の無償化

最優先事項② 保育料の引き下げ、第2子以降の保育料無償化

最優先事項③ 介護保険料・国民健康保険税の軽減策の拡充

財源づくり① 建設費だけで300億円とも言われる川口駅への中距離電車停車計画の廃止・見直しにより財源を作ります。

財源づくり② 建設費だけで30億円とも言われる市立美術館計画の廃止・見直しにより財源を作ります。

財源づくり③ 古い計画では60年も前から長期間未整備となっている川口駅周辺の道路建設費（残工事に300億円必要）を見直して、大幅な予算削減をすすめ財源を作ります。

芝地区の南浦和前川線(都市計画道路)の進捗状況について

〈南浦和前川線〉は、前川2丁目から産業道路沿いのファミリーレストラン『フォルクス』とオフィスベンダー川口店のある交差点、芝グランドボール、芝西中とマルエツを通り、その先の小谷場に向かって南浦和駅近くまで伸びる工事中の道路です。

この道路は、完成すれば前川エリアから南浦和駅近くまで抜けるため、芝地区の交通利便性を向上させる大切な道路計画です。しかしながら、事業予算の確保が一番の課題となっており、現時点で事業完了は見通せておりません。

11月下旬に、れいわ新選組の埼玉県政策委員「ほんだ まさき」と一緒に現地を歩き状況調査をしてきました。その後、川口市西部区画整理事務所を訪れ、現状を確認した上で事業促進のための予算確保を求めてきました。

工事の現状ですが、必要な用地買収は約95%済みであり、上水道やガスなどのライフラインの整備も、ほぼ完了しております。ただし、予算不足のため雨水処理のための埋設管設置のメドがたっていないため、道路の使用開始までの年限はハッキリせず、まだまだ時間がかかるとの回答でした。

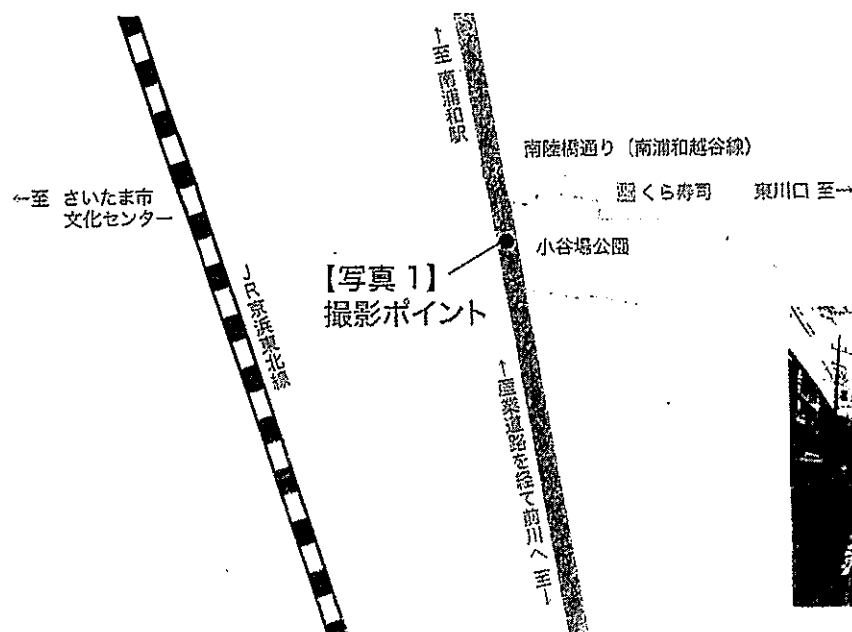
川口駅周辺にばかり偏重した大型開発(例:①川口駅への中距離電車停車に300億円、②川口駅周辺に集中する道路計画に300億円)を抜本的に改めて、市内の均衡ある発展を見据え、生活道路の維持・管理とともに、地域住民の交通利便性を向上させる幹線道路にこそ、予算を使うべきだと考えます。

当該地区の区画整理の大きな要の一つである〈南浦和前川線〉の開通のために必要不可欠なことは予算です。国からの補助金確保と同時に川口市の予算増額を求めています。



【写真1】小谷場公園脇にて状況確認している
「れいわ新選組 埼玉県(南2区川口市) 政策委員 ほんだ まさき」と私(右)

南浦和前川線(都市計画道路)の進捗状況



■南陸橋通りから望む工事現場



南浦和陸橋

とうとう「戸塚差間線」の開通メドが立ってきました！

～順調にいけば2023年度中に開通します～

長年、地域の方から多くの要望が寄せられていた〈戸塚差間線〉の開通メドが立ってきました。

これまで川口市域の工事は完了しているのですが、さいたま市域の工事区間の完了メドが立っていませんでした。

わたし木岡は、これまで何度もさいたま市土地区画整理協会に足を運び、川口市の現状を伝えて1日も早い工事完了と開通を要望してきました。

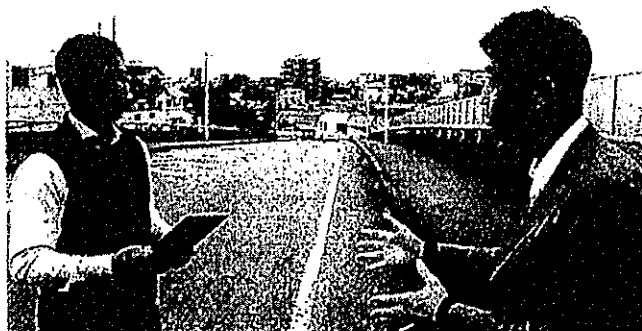
11月には、れいわ新選組の埼玉県（南2区川口市）政策委員の「ほんだ まさき」と一緒に現地を歩き状況調査をしてきました。

その後、さいたま市土地区画整理協会に確認したところ、来年度（2023年度）予算において、当該箇所の道路舗装までの工事費用を予算要求しており、2023年のさいたま市議会2月定例会で可決されれば、予算が付くとの事でした。

予算が付けば、2023年度中に舗装工事まで完了する予定との事が明らかになりました。

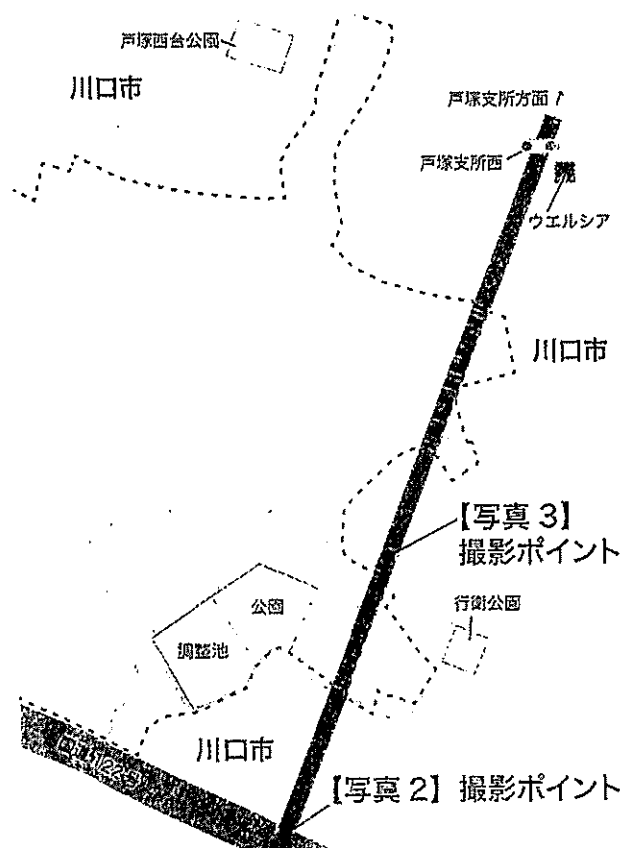
工事が完了すれば、すぐに利用開始できるそうです。

引き続き地域のための働きかけを行っていきます。



【写真2】川口市側（工事完了）より状況確認している「れいわ新選組 埼玉県（南2区川口市）政策委員 ほんだ まさき」と私（右）

戸塚差間線 工事区間位置図



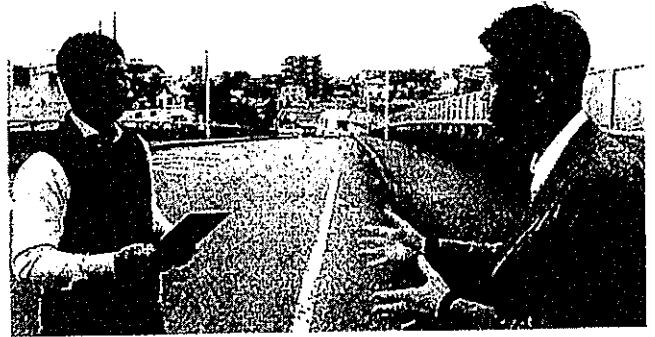
2023年度工事完了予定区間
（さいたま市側）

【写真3】戸塚差間線側（工事完了）部分とさいたま市側（工事予定）



～順調にいけば2023年度中に開通します～

引き続き地域のための働きかけを行っていきます。



【写真2】川口市側（工事完了）より状況確認している
「れいわ新選組 埼玉県（南2区川口市）政策委員 ほんだまさき」と私（右）

川口市

戸塚西台公園

戸塚支所方面

戸塚支所西

ウエルシア

川口市

公園

調整池

行街公園

川口市

【写真3】 撮影ポイント

【写真2】 撮影ポイント

・2023 年度工事完了予定区間
(さいたま市側)

【写真3】戸塚差間線側（工事完了）部分と
さいたま市側（工事予定）



【写真3】
撮影ポイント

【写真2】撮影ポイント